

吉岡町の財政状況

令和元年度決算

令和2年3月31日現在

人口：21,706人

男：10,642人

女：11,064人

世帯：8,239世帯

面積：20.46 km²

令和3年2月

【目 次】

1. 一般会計決算.....	1
(1) 歳入.....	1
ア 款別.....	1
イ 目的別.....	2
ウ 一般財源・特定財源.....	3
エ 自主財源・依存財源.....	4
(2) 歳出.....	5
ア 款別.....	5
イ 性質別.....	6
(3) 町税.....	7
ア 決算額.....	7
イ 町民1人あたり決算額.....	8
ウ 1世帯あたり決算額.....	8
2. 会計別決算.....	9
3. 財産の状況.....	11
(1) 年度末現在高.....	11
(2) 年度末現在高（町民1人あたり）.....	11
(3) 年度末現在高（1世帯あたり）.....	11
(4) 主な財産の増減内訳.....	12
(5) 基金残高.....	13
(6) 基金残高（町民1人あたり）.....	14
(7) 基金残高（1世帯あたり）.....	15
(8) 基金残高の推移.....	16
4. 町債の状況.....	19
(1) 一般会計現在高.....	19
(2) 会計別現在高.....	23
(3) 会計別現在高（町民1人あたり）.....	24
(4) 会計別現在高（1世帯あたり）.....	25
(5) 町債残高の推移.....	26
(6) 公債費の推移.....	28
5. 主要事業一覧表.....	31
6. 吉岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和元年度主要事業一覧表（再掲）.....	78

1. 一般会計決算

(1) 歳入 ア 款別

(単位：円、%)

区 分	令和元年度		平成30年度		比 較	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
1. 町税	2,612,610,813	34.4	2,550,205,030	36.3	62,405,783	2.4
2. 地方譲与税	89,500,000	1.2	89,153,000	1.3	347,000	0.4
3. 利子割交付金	2,162,000	0.0	4,201,000	0.1	△2,039,000	△48.5
4. 配当割交付金	10,639,000	0.1	9,131,000	0.1	1,508,000	16.5
5. 株式等譲渡所得割交付金	6,364,000	0.1	7,630,000	0.1	△1,266,000	△16.6
6. 地方消費税交付金	349,471,000	4.6	369,430,000	5.3	△19,959,000	△5.4
7. ゴルフ場利用税交付金	1,304,405	0.0	1,451,804	0.0	△147,399	△10.2
8. 自動車取得税交付金	13,674,695	0.2	28,271,000	0.4	△14,596,305	△51.6
9. 自動車税環境性能割交付金	4,016,000	0.1	0	0.0	4,016,000	皆増
10. 地方特例交付金	71,773,000	0.9	31,961,000	0.5	39,812,000	124.6
11. 地方交付税	1,132,996,000	14.9	1,098,357,000	15.6	34,639,000	3.2
うち普通交付税	1,014,986,000	13.4	977,544,000	13.9	37,442,000	3.8
12. 交通安全対策特別交付金	3,667,000	0.0	3,390,000	0.0	277,000	8.2
13. 分担金及び負担金	106,888,490	1.4	157,938,680	2.2	△51,050,190	△32.3
14. 使用料及び手数料	34,030,597	0.4	34,653,248	0.5	△622,651	△1.8
15. 国庫支出金	1,453,789,541	19.2	1,070,325,330	15.2	383,464,211	35.8
16. 県支出金	661,483,034	8.7	602,786,902	8.6	58,696,132	9.7
17. 財産収入	3,113,665	0.0	3,728,921	0.1	△615,256	△16.5
18. 寄附金	6,174,900	0.1	8,103,950	0.1	△1,929,050	△23.8
19. 繰入金	195,170,846	2.6	147,715,395	2.1	47,455,451	32.1
うち財政調整基金	180,000,000	2.4	100,000,000	1.4	80,000,000	80.0
20. 繰越金	139,650,344	1.8	95,099,690	1.4	44,550,654	46.8
21. 諸収入	106,054,002	1.4	133,225,392	1.9	△27,171,390	△20.4
22. 町債	598,100,000	7.9	577,800,000	8.2	20,300,000	3.5
うち臨時財政対策債	244,500,000	3.2	272,500,000	3.9	△28,000,000	△10.3
歳 入 合 計	7,602,633,332	100.0	7,024,558,342	100.0	578,074,990	8.2

イ 目的別

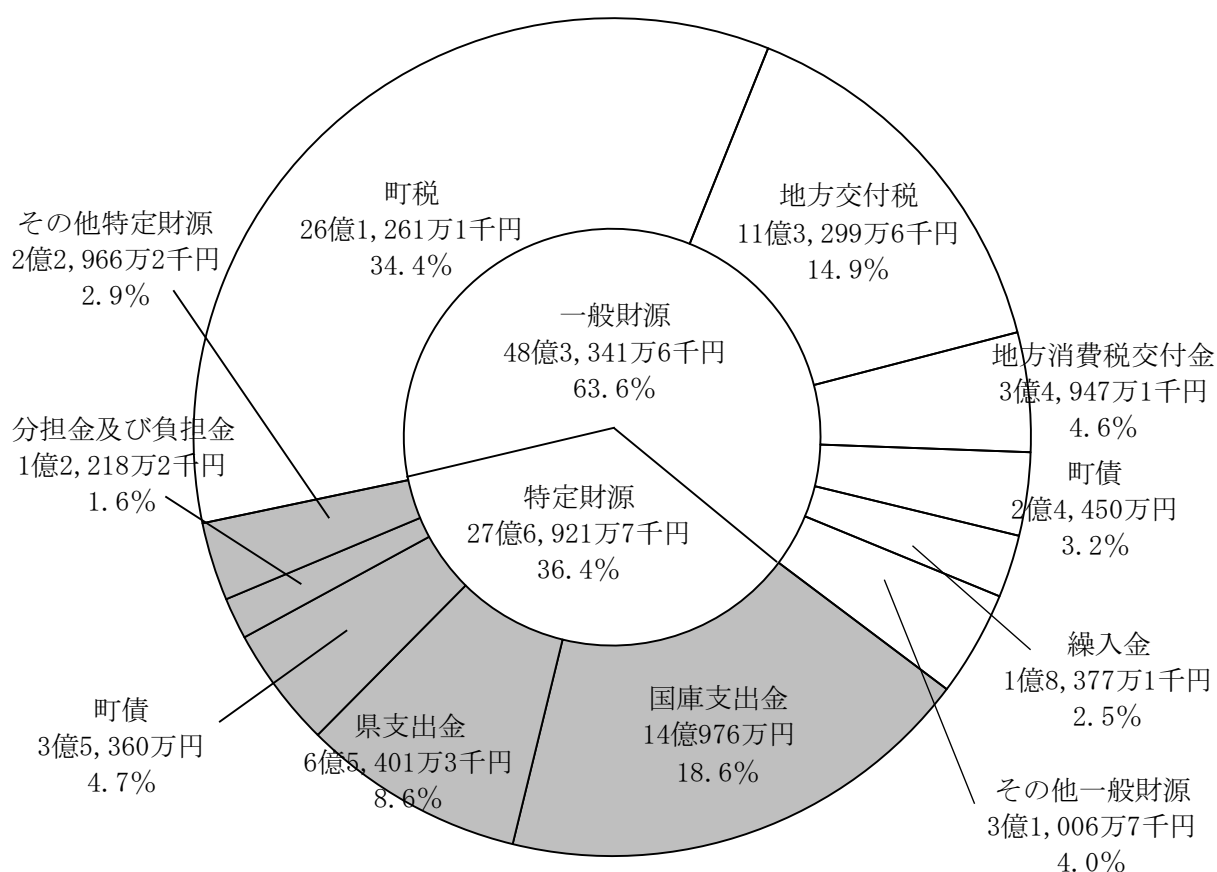
(単位：千円、%)

区 分	令和元年度		平成30年度		比 較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
町税	2,612,611	34.4	2,550,205	36.3	62,406	2.4
地方譲与税	89,500	1.2	89,153	1.3	347	0.4
利子割交付金	2,162	0.0	4,201	0.1	△2,039	△48.5
配当割交付金	10,639	0.1	9,131	0.1	1,508	16.5
株式等譲渡所得割交付金	6,364	0.1	7,630	0.1	△1,266	△16.6
地方消費税交付金	349,471	4.6	369,430	5.3	△19,959	△5.4
ゴルフ場利用税交付金	1,304	0.0	1,452	0.0	△148	△10.2
自動車取得税交付金	13,675	0.2	28,271	0.4	△14,596	△51.6
自動車税環境性能割交付金	4,016	0.1	0	0.0	4,016	皆増
地方特例交付金	71,773	0.9	31,961	0.5	39,812	124.6
地方交付税	1,132,996	14.9	1,098,357	15.6	34,639	3.2
交通安全対策特別交付金	3,667	0.0	3,390	0.0	277	8.2
分担金及び負担金	122,182	1.6	170,200	2.4	△48,018	△28.2
使用料	23,856	0.3	23,978	0.3	△122	△0.5
手数料	10,175	0.1	10,675	0.2	△500	△4.7
国庫支出金	1,453,790	19.2	1,070,325	15.2	383,465	35.8
県支出金	661,482	8.7	602,786	8.6	58,696	9.7
財産収入	3,114	0.0	3,729	0.1	△615	△16.5
寄附金	6,175	0.1	8,104	0.1	△1,929	△23.8
繰入金	195,171	2.6	147,715	2.1	47,456	32.1
繰越金	139,650	1.8	95,099	1.4	44,551	46.8
諸収入	90,760	1.2	120,966	1.7	△30,206	△25.0
町債	598,100	7.9	577,800	8.2	20,300	3.5
歳入合計	7,602,633	100.0	7,024,558	100.0	578,075	8.2

ウ 一般財源・特定財源

(単位：千円、%)

区 分	令和元年度		平成30年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
一 般 財 源	4,833,416	63.6	4,641,179	66.1	192,237	4.1
特 定 財 源	2,769,217	36.4	2,383,379	33.9	385,838	16.2
歳 入 合 計	7,602,633	100.0	7,024,558	100.0	578,075	8.2



- 一般財源…町税、地方交付税などの使途が特定されていない財源

【その他一般財源の内訳】

地方譲与税 (8,950万円、1.2%)、地方特例交付金 (7,177万3千円、0.9%)、繰越金 (3,076万6千円、0.4%)、自動車取得税交付金 (1,367万5千円、0.2%)、配当割交付金 (1,063万9千円、0.1%)、株式等譲渡所得割交付金 (636万4千円、0.1%) など

- 特定財源…国庫支出金、分担金及び負担金などの使途が特定されている財源

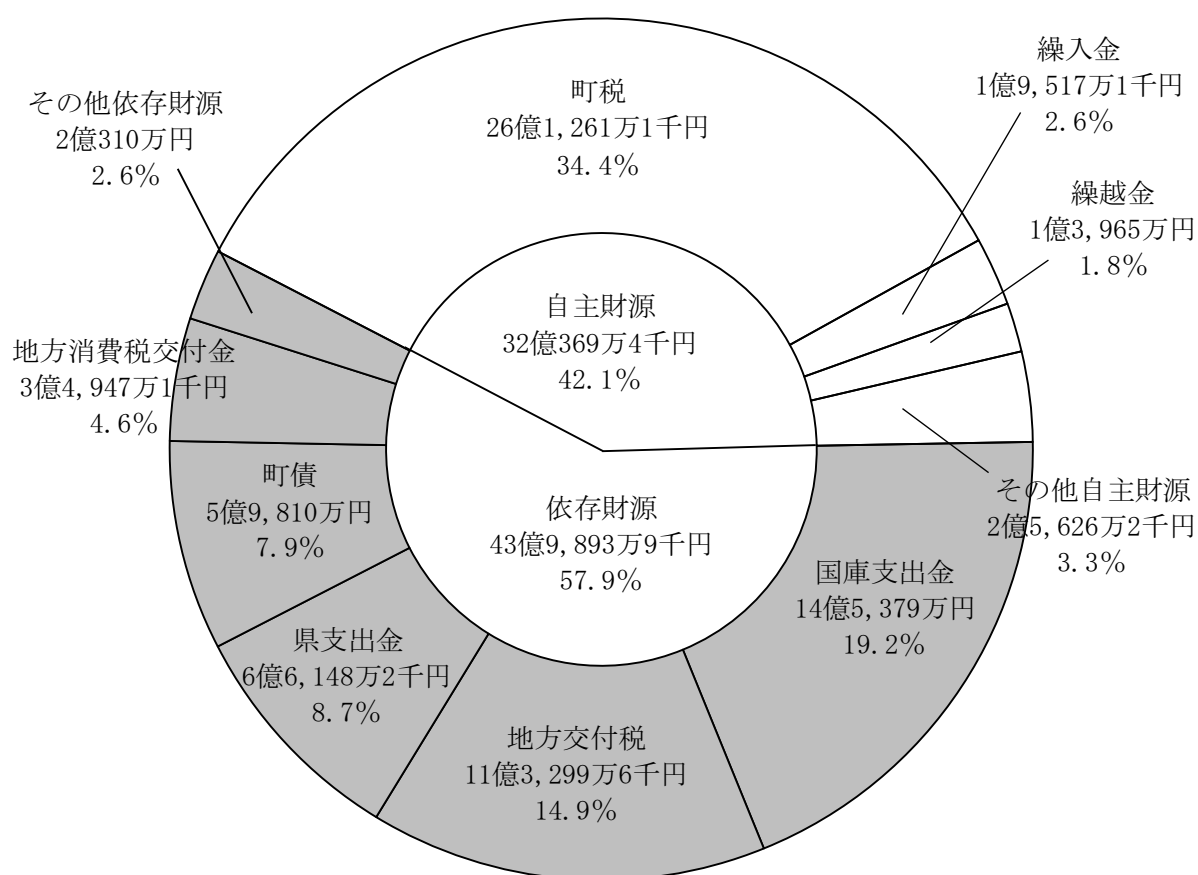
【その他特定財源の内訳】

繰越金 (1億888万4千円、1.4%)、諸収入 (7,648万円、1.0%)、使用料 (2,087万6千円、0.3%)、繰入金 (1,140万円、0.1%)、手数料 (1,017万5千円、0.1%)、寄附金 (100万円、0.0%)、財産収入 (84万7千円、0.0%)

エ 自主財源・依存財源

(単位：千円、%)

区 分	令和元年度		平成30年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
自 主 財 源	3,203,694	42.1	3,130,671	44.6	73,023	2.3
依 存 財 源	4,398,939	57.9	3,893,887	55.4	505,052	13.0
歳 入 合 計	7,602,633	100.0	7,024,558	100.0	578,075	8.2



- 自主財源…町税、繰入金、分担金及び負担金など

【その他自主財源の内訳】

分担金及び負担金 (1億2,218万2千円、1.6%)、諸収入 (9,076万円、1.2%)、使用料 (2,385万6千円、0.3%)、手数料 (1,017万5千円、0.1%)、寄附金 (617万5千円、0.1%)、財産収入 (311万4千円、0.0%)

- 依存財源…国庫支出金、地方交付税、地方譲与税、町債、各種交付金など

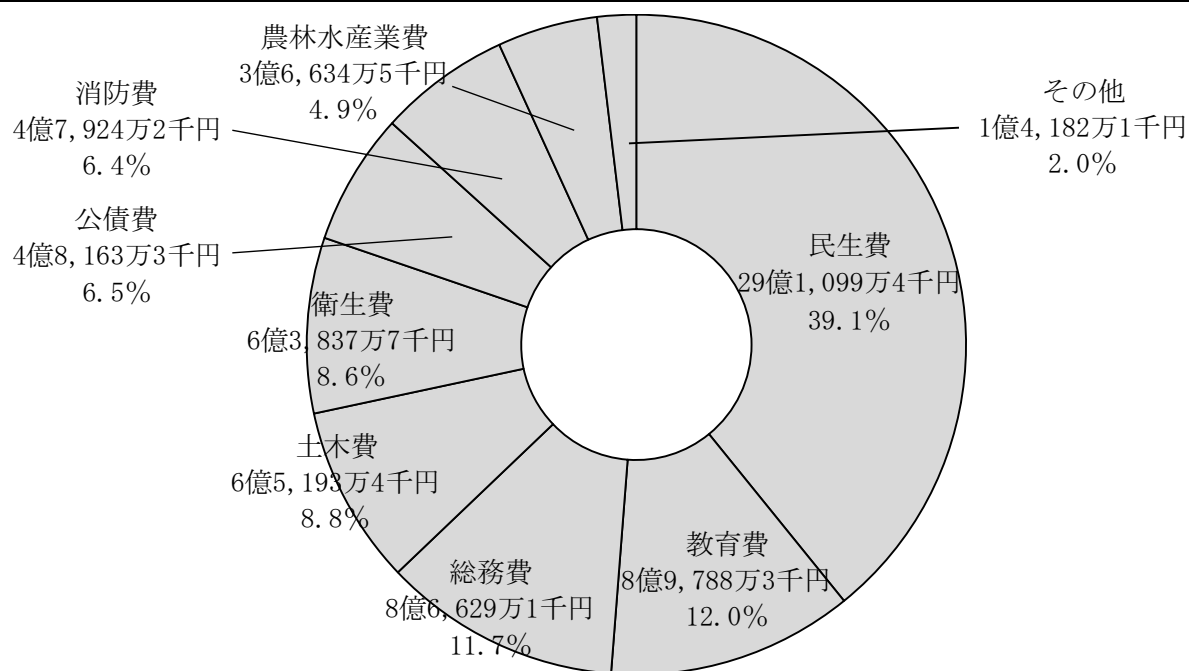
【その他依存財源の内訳】

地方譲与税 (8,950万円、1.2%)、地方特例交付金 (7,177万3千円、0.9%)、自動車取得税交付金 (1,367万5千円、0.2%)、配当割交付金 (1,063万9千円、0.1%)、株式等譲渡所得割交付金 (636万4千円、0.1%) など

(2) 歳出
ア 款別

(単位：円、%)

区 分	令和元年度		平成30年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
1. 議会費	86,845,247	1.2	95,091,287	1.4	△8,246,040	△8.7
2. 総務費	866,290,728	11.7	818,784,079	11.9	47,506,649	5.8
3. 民生費	2,910,994,278	39.1	2,472,024,140	35.9	438,970,138	17.8
4. 衛生費	638,376,717	8.6	617,854,729	9.0	20,521,988	3.3
5. 労働費	13,631,051	0.2	17,334,310	0.3	△3,703,259	△21.4
6. 農林水産業費	366,344,869	4.9	319,167,360	4.6	47,177,509	14.8
7. 商工費	41,333,722	0.6	30,301,677	0.4	11,032,045	36.4
8. 土木費	651,933,844	8.8	935,398,450	13.6	△283,464,606	△30.3
9. 消防費	479,240,909	6.4	328,622,639	4.8	150,618,270	45.8
10. 教育費	897,883,427	12.0	757,467,461	11.0	140,415,966	18.5
11. 災害復旧費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
12. 公債費	481,632,624	6.5	492,843,866	7.1	△11,211,242	△2.3
13. 諸支出金	11,000	0.0	18,000	0.0	△7,000	△38.9
14. 予備費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
歳 出 合 計	7,434,518,416	100.0	6,884,907,998	100.0	549,610,418	8.0



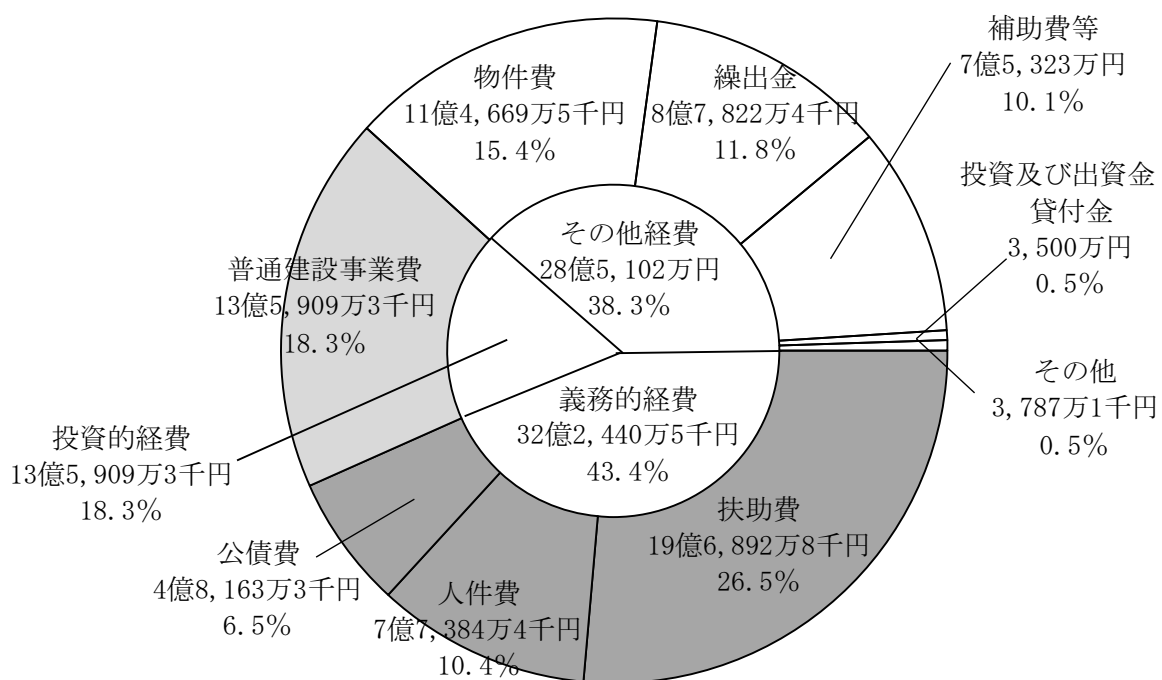
【その他の内訳】

議会費 (8,684万5千円、1.2%)、商工費 (4,133万4千円、0.6%)、労働費 (1,363万1千円、0.2%)、諸支出金 (1万1千円、0.0%)

イ 性質別

(単位：千円、%)

区 分	令和元年度		平成30年度		比 較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	3,224,405	43.4	3,149,634	45.8	74,771	2.4
人件費	773,844	10.4	796,567	11.6	△22,723	△2.9
扶助費	1,968,928	26.5	1,860,223	27.0	108,705	5.8
公債費	481,633	6.5	492,844	7.1	△11,211	△2.3
投資的経費	1,359,093	18.3	972,508	14.1	386,585	39.8
普通建設事業費	1,359,093	18.3	972,508	14.1	386,585	39.8
災害復旧事業費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他経費	2,851,020	38.3	2,762,766	40.1	88,254	3.2
物件費	1,146,695	15.4	1,088,278	15.8	58,417	5.4
維持補修費	19,813	0.3	46,973	0.7	△27,160	△57.8
補助費等	753,230	10.1	754,650	11.0	△1,420	△0.2
積立金	18,058	0.2	14,998	0.2	3,060	20.4
投資及び出資金・貸付金	35,000	0.5	35,000	0.5	0	0.0
繰出金	878,224	11.8	822,867	12.0	55,357	6.7
予備費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
歳 出 合 計	7,434,518	100.0	6,884,908	100.0	549,610	8.0



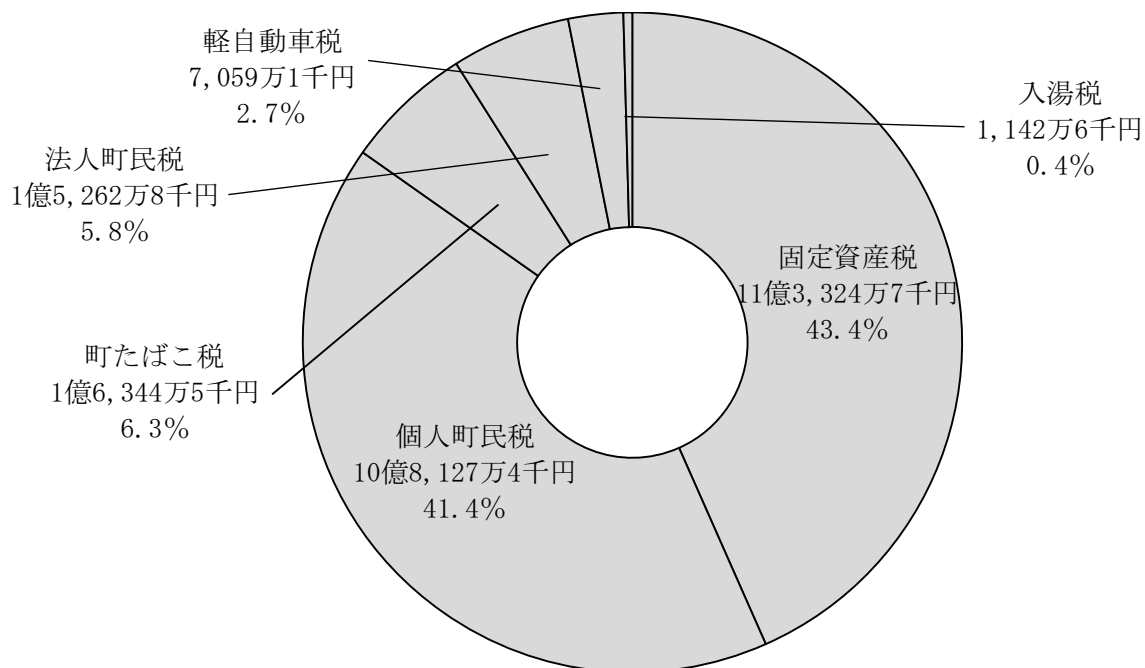
【その他の内訳】

維持補修費 (1,981万3千円、0.3%)、積立金 (1,805万8千円、0.2%)

(3) 町税
ア 決算額

(単位：円、%)

区 分	令和元年度		平成30年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
個人町民税	1,081,273,906	41.4	1,048,293,780	41.1	32,980,126	3.1
法人町民税	152,627,612	5.8	152,692,328	6.0	△64,716	0.0
固定資産税	1,133,246,970	43.4	1,114,163,011	43.7	19,083,959	1.7
軽自動車税	70,591,074	2.7	67,349,379	2.6	3,241,695	4.8
町たばこ税	163,444,851	6.3	156,114,292	6.1	7,330,559	4.7
入湯税	11,426,400	0.4	11,592,240	0.5	△165,840	△1.4
計	2,612,610,813	100.0	2,550,205,030	100.0	62,405,783	2.4



イ 町民1人あたり決算額

令和元年度・平成30年度の決算額を、それぞれ令和2年3月31日現在・平成31年3月31日現在の人口で割ったものです。

(単位：円、%)

区 分	令和元年度		平成30年度		比 較	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
個人町民税	49,815	41.4	48,824	41.1	991	2.0
法人町民税	7,032	5.8	7,112	6.0	△80	△1.1
固定資産税	52,209	43.4	51,892	43.7	317	0.6
軽自動車税	3,252	2.7	3,137	2.6	115	3.7
町たばこ税	7,530	6.3	7,271	6.1	259	3.6
入湯税	526	0.4	540	0.5	△14	△2.6
計	120,364	100.0	118,774	100.0	1,590	1.3

※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

ウ 1世帯あたり決算額

令和元年度・平成30年度の決算額を、それぞれ令和2年3月31日現在・平成31年3月31日現在の世帯数で割ったものです。

(単位：円、%)

区 分	令和元年度		平成30年度		比 較	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
個人町民税	131,238	41.4	130,013	41.1	1,225	0.9
法人町民税	18,525	5.8	18,937	6.0	△412	△2.2
固定資産税	137,547	43.4	138,182	43.7	△635	△0.5
軽自動車税	8,568	2.7	8,353	2.6	215	2.6
町たばこ税	19,838	6.3	19,362	6.1	476	2.5
入湯税	1,387	0.4	1,438	0.5	△51	△3.5
計	317,103	100.0	316,285	100.0	818	0.3

※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

2. 会計別決算

(単位：円、%)

区 分		令和元年度 決 算 額	平成30年度 決 算 額	比 較		
				増 減 額	増減率	
一 般 会 計	歳入	7,602,633,332	7,024,558,342	578,074,990	8.2	
	歳出	7,434,518,416	6,884,907,998	549,610,418	8.0	
	差引	168,114,916	139,650,344	28,464,572	20.4	
	翌年繰越額	143,802,000	108,884,000	34,918,000	32.1	
	実質収支	24,312,916	30,766,344	△6,453,428	△21.0	
特 別 会 計	学校給食事業	歳入	109,125,314	118,216,041	△9,090,727	△7.7
		歳出	108,329,572	117,035,907	△8,706,335	△7.4
		差引	795,742	1,180,134	△384,392	△32.6
		翌年繰越額	0	0	0	0.0
		実質収支	795,742	1,180,134	△384,392	△32.6
	公共下水道事業	歳入	431,486,186	420,882,730	10,603,456	2.5
		歳出	430,056,716	420,582,730	9,473,986	2.3
		差引	1,429,470	300,000	1,129,470	376.5
		翌年繰越額	0	0	0	0.0
		実質収支	1,429,470	300,000	1,129,470	376.5
	国民健康保険 事業	歳入	1,900,738,672	1,868,178,326	32,560,346	1.7
		歳出	1,897,329,362	1,825,111,499	72,217,863	4.0
		差引	3,409,310	43,066,827	△39,657,517	△92.1
		翌年繰越額	0	0	0	0.0
		実質収支	3,409,310	43,066,827	△39,657,517	△92.1
	農業集落排水 事業	歳入	177,145,524	153,104,713	24,040,811	15.7
		歳出	177,045,524	153,004,713	24,040,811	15.7
		差引	100,000	100,000	0	0.0
		翌年繰越額	0	0	0	0.0
		実質収支	100,000	100,000	0	0.0

(単位：円、%)

区 分		令和元年度 決 算 額	平成30年度 決 算 額	比 較		
				増 減 額	増減率	
特 別 会 計	住宅新築資金等 貸付事業	歳入	2,254,786	4,381,631	△2,126,845	△48.5
		歳出	2,254,786	4,381,631	△2,126,845	△48.5
		差引	0	0	0	0.0
		翌年繰越額	0	0	0	0.0
		実質収支	0	0	0	0.0
	介護保険事業	歳入	1,390,677,186	1,384,631,597	6,045,589	0.4
		歳出	1,362,216,652	1,340,456,855	21,759,797	1.6
		差引	28,460,534	44,174,742	△15,714,208	△35.6
		翌年繰越額	0	0	0	0.0
		実質収支	28,460,534	44,174,742	△15,714,208	△35.6
	後期高齢者医療 事業	歳入	205,797,587	189,915,424	15,882,163	8.4
		歳出	200,137,387	186,061,124	14,076,263	7.6
		差引	5,660,200	3,854,300	1,805,900	46.9
		翌年繰越額	0	0	0	0.0
		実質収支	5,660,200	3,854,300	1,805,900	46.9
	計	歳入	4,217,225,255	4,139,310,462	77,914,793	1.9
		歳出	4,177,369,999	4,046,634,459	130,735,540	3.2
		差引	39,855,256	92,676,003	△52,820,747	△57.0
		翌年繰越額	0	0	0	0.0
		実質収支	39,855,256	92,676,003	△52,820,747	△57.0
合 計	歳入	11,819,858,587	11,163,868,804	655,989,783	5.9	
	歳出	11,611,888,415	10,931,542,457	680,345,958	6.2	
	差引	207,970,172	232,326,347	△24,356,175	△10.5	
	翌年繰越額	143,802,000	108,884,000	34,918,000	32.1	
	実質収支	64,168,172	123,442,347	△59,274,175	△48.0	

3. 財産の状況

(1) 年度末現在高

区 分	令和元年度末 現 在 高	平成30年度末 現 在 高	比 較	
			増 減 高	増減率 (%)
土地 (㎡)	1,999,180	1,998,476	704	0.0
建物 (㎡)	48,888	50,065	△1,177	△2.4
基金 (円)	2,514,499,685	2,703,830,685	△189,331,000	△7.0
出資金 (円)	140,929,316	140,929,316	0	0.0
自動車 (台)	48	47	1	2.1
消防自動車 (台)	6	6	0	0.0

※ 道路及び橋梁は含みません。

(2) 年度末現在高 (町民1人あたり)

令和元年度末・平成30年度末の現在高を、それぞれ令和2年3月31日現在・平成31年3月31日現在の人口で割ったものです。

区 分	令和元年度末 現 在 高	平成30年度末 現 在 高	比 較	
			増 減 高	増減率 (%)
土地 (㎡)	92.10	93.08	△0.98	△1.1
建物 (㎡)	2.25	2.33	△0.08	△3.4
基金 (円)	115,844	125,929	△10,085	△8.0
出資金 (円)	6,493	6,564	△71	△1.1

※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

(3) 年度末現在高 (1世帯あたり)

令和元年度末・平成30年度末の現在高を、それぞれ令和2年3月31日現在・平成31年3月31日現在の世帯数で割ったものです。

区 分	令和元年度末 現 在 高	平成30年度末 現 在 高	比 較	
			増 減 高	増減率 (%)
土地 (㎡)	242.65	247.86	△5.21	△2.1
建物 (㎡)	5.93	6.21	△0.28	△4.5
基金 (円)	305,195	335,338	△30,143	△9.0
出資金 (円)	17,105	17,479	△374	△2.1

※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

(4) 主な財産の増減内訳

	増 減 高	備 考
土 地 (㎡)	704.25	
駒寄第3学童駐車場用地	693.22	用地買収による増
国土調査による成果	11.03	
建 物 (㎡)	△1,176.80	
吉岡中学校東校舎	462.23	増築による増
吉岡町第3保育園	△716.25	解体による減
駒寄地区児童屋内体育施設	△922.78	解体による減
基 金 (円)	△189,331,000	
財政調整基金	△164,022,000	前年度決算剰余金の積立て +15,384,000 運用益の積立て +594,000 財源不足による取崩し △180,000,000
減債基金	2,000	運用益の積立て +2,000
渇水対策施設維持管理基金	△10,388,000	運用益の積立て +12,000 渇水対策施設維持管理経費財源の取崩し △10,400,000
教育文化振興基金	21,000	運用益の積立て +21,000 図書館図書購入費に対する寄附金の積立て +1,000,000 図書館図書購入財源の取崩し △1,000,000
地域福祉基金	31,000	運用益の積立て +31,000
土地開発基金	11,000	運用益の積立て +11,000
森林経営管理基金	1,014,000	森林環境譲与税分の積立て +1,014,000
国民健康保険基金	△16,000,000	財源不足による取崩し △16,000,000

※ 運用益の積立て：基金を運用する預金の利子等の運用益を積み立てるもの

(5) 基金残高

(単位：円)

区 分	平成30年度末 現 在 高	令和元年度中増減額		令和元年度末 現 在 高
		令和元年度中 積 立 等 額	令和元年度中 取 崩 額	
一 般 会 計	2,532,830,685	18,069,000	191,400,000	2,359,499,685
財政調整基金	2,305,860,685	15,978,000	180,000,000	2,141,838,685
減債基金	32,419,000	2,000	0	32,421,000
その他特定目的基金	174,255,000	2,078,000	11,400,000	164,933,000
湧水対策施設維持管理基金	86,412,000	12,000	10,400,000	76,024,000
教育文化振興基金	36,271,000	1,021,000	1,000,000	36,292,000
地域福祉基金	51,572,000	31,000	0	51,603,000
森林経営管理基金	0	1,014,000	0	1,014,000
定額運用基金	20,296,000	11,000	0	20,307,000
土地開発基金	18,796,000	11,000	0	18,807,000
収入印紙等購買基金	1,500,000	0	0	1,500,000
国民健康保険事業特別会計	117,734,000	0	16,000,000	101,734,000
国民健康保険基金	117,734,000	0	16,000,000	101,734,000
介護保険事業特別会計	53,266,000	0	0	53,266,000
介護給付費準備基金	53,266,000	0	0	53,266,000
計	2,703,830,685	18,069,000	207,400,000	2,514,499,685

※ 財政調整基金：年度間の財源の不均衡を調整するための基金で、長期的視野に立った計画的な財政運営を行うために、財源に余裕のある年度に積立てを行い、財源不足が生じる年度に活用するもの。

※ 減債基金：地方債の償還を計画的に行うための資金を積み立てる目的で設けられる基金。

※ その他特定目的基金：財政調整基金、減債基金の目的以外の特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立てるために設置される基金。

※ 定額運用基金：定額の資金を運用するために設けられる資金又は財産。

※ 湧水対策施設維持管理基金：上越新幹線榛名トンネルの掘削に伴う湧水対策として整備された施設の維持管理費用に充てるため、JRからの補償金を原資として設置された基金。

※ 教育文化振興基金：教育及び文化の振興を図るための経費に充てるため設置された基金。

※ 地域福祉基金：高齢者の保健福祉の向上を図るための経費に充てるため設置された基金。

※ 森林経営管理基金：森林整備等を行うための経費に充てるため、森林環境譲与税を原資として設置された基金。

(6) 基金残高（町民1人あたり）

平成30年度末現在高は、平成30年度末の現在高を平成31年3月31日現在の人口で割ったものです。

令和元年度中増減額、令和元年度末現在高は、令和元年度中の増減額、令和元年度末の現在高を、それぞれ令和2年3月31日現在の人口で割ったものです。

（単位：円）

区 分	平成30年度末 現 在 高	令和元年度中増減額		令和元年度末 現 在 高
		令和元年度中 積 立 等 額	令和元年度中 取 崩 額	
一 般 会 計	117,965	832	8,818	108,703
財政調整基金	107,394	736	8,293	98,675
減債基金	1,510	0	0	1,494
その他特定目的基金	8,116	96	525	7,598
濁水対策施設維持管理基金	4,025	1	479	3,502
教育文化振興基金	1,689	47	46	1,672
地域福祉基金	2,402	1	0	2,377
森林経営管理基金	0	47	0	47
定額運用基金	945	1	0	936
土地開発基金	875	1	0	866
収入印紙等購買基金	70	0	0	69
国民健康保険事業特別会計	5,483	0	737	4,687
国民健康保険基金	5,483	0	737	4,687
介護保険事業特別会計	2,481	0	0	2,454
介護給付費準備基金	2,481	0	0	2,454
計	125,929	832	9,555	115,844

※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

(7) 基金残高（1世帯あたり）

平成30年度末現在高は、平成30年度末現在の基金残高を平成31年3月31日現在の世帯数で割ったものです。

令和元年度中増減額・令和元年度末現在高は、令和元年度中の増減額・令和元年度末現在の基金残高を、それぞれ令和2年3月31日現在の世帯数で割ったものです。

（単位：円）

区 分	平成30年度末 現 在 高	令和元年度中増減額		令和元年度末 現 在 高
		令和元年度中 積 立 等 額	令和元年度中 取 崩 額	
一 般 会 計	314,130	2,193	23,231	286,382
財政調整基金	285,980	1,939	21,847	259,963
減債基金	4,021	0	0	3,935
その他特定目的基金	21,612	252	1,384	20,019
濁水対策施設維持管理基金	10,717	1	1,262	9,227
教育文化振興基金	4,498	124	121	4,405
地域福祉基金	6,396	4	0	6,263
森林経営管理基金	0	123	0	123
定額運用基金	2,517	1	0	2,465
土地開発基金	2,331	1	0	2,283
収入印紙等購買基金	186	0	0	182
国民健康保険事業特別会計	14,602	0	1,942	12,348
国民健康保険基金	14,602	0	1,942	12,348
介護保険事業特別会計	6,606	0	0	6,465
介護給付費準備基金	6,606	0	0	6,465
計	335,338	2,193	25,173	305,195

※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

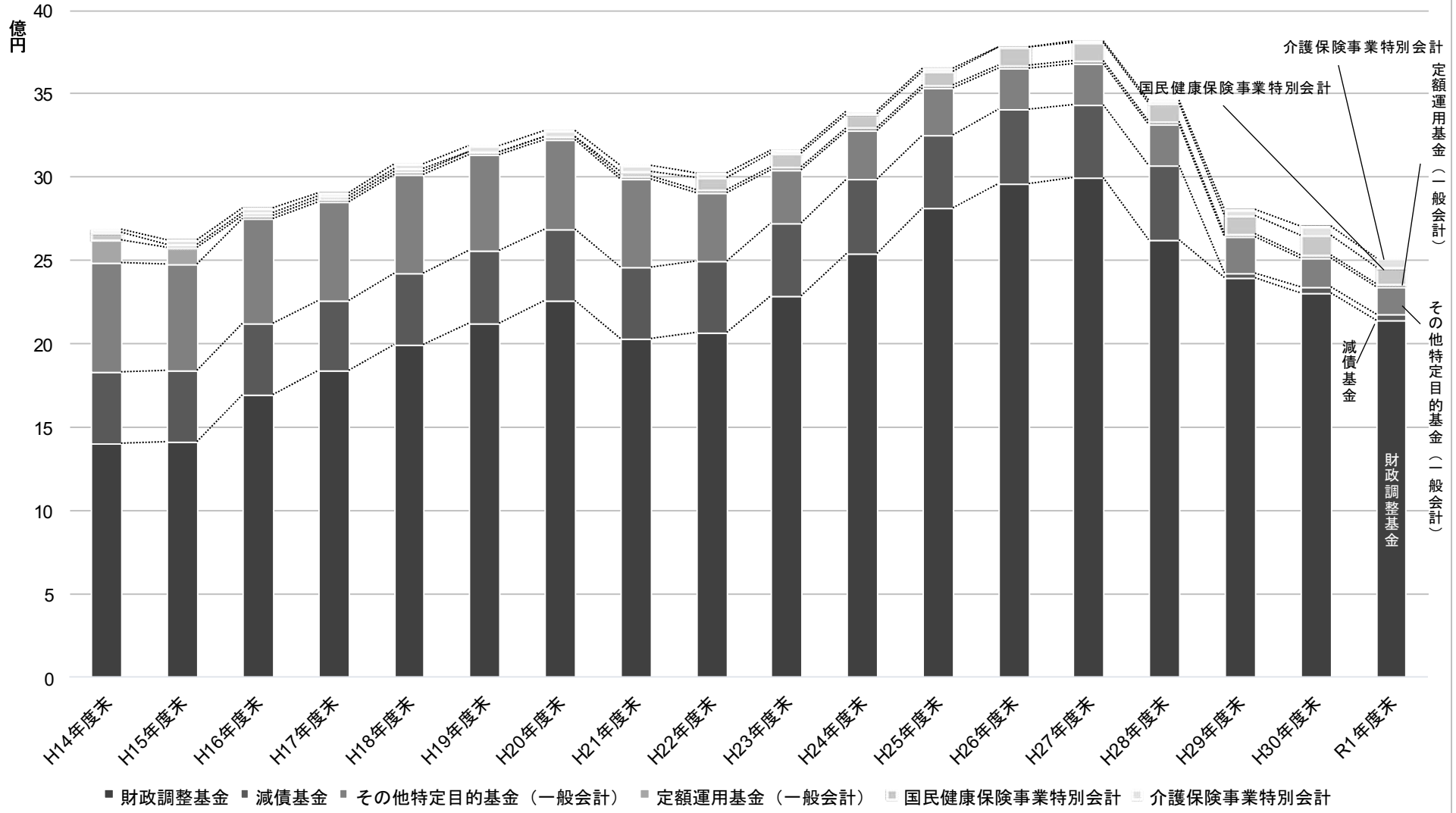
(8) 基金残高の推移

(単位：千円)

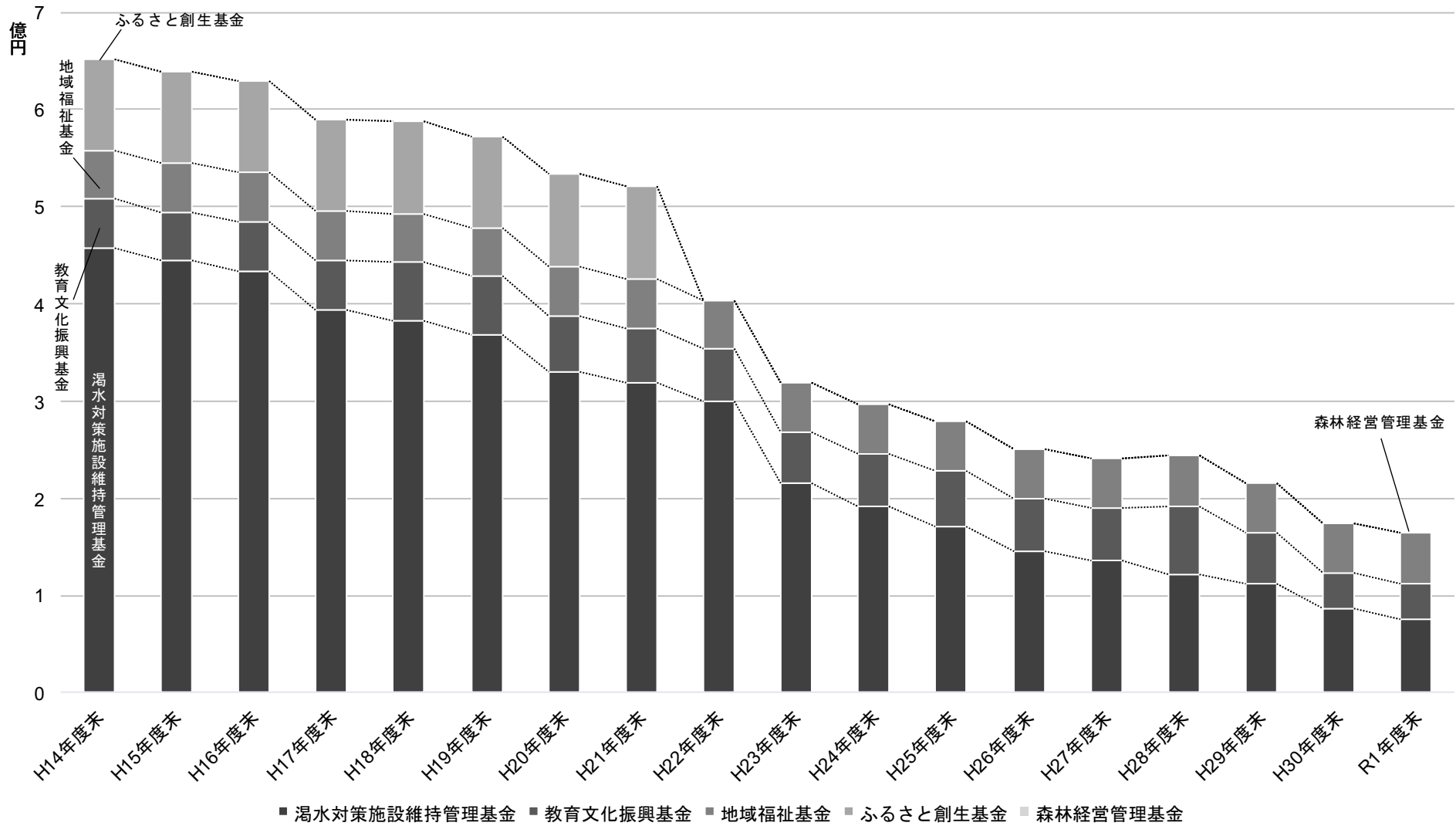
区 分	H22年度末	H23年度末	H24年度末	H25年度末	H26年度末	H27年度末	H28年度末	H29年度末	H30年度末	R元年度末
一 般 会 計	2,922,089	3,062,785	3,299,386	3,552,420	3,672,533	3,697,001	3,330,843	2,660,601	2,532,831	2,359,500
財政調整基金	2,064,756	2,288,490	2,544,657	2,812,254	2,959,496	2,991,739	2,622,098	2,391,987	2,305,861	2,141,839
減債基金	434,900	437,122	439,358	440,984	442,248	443,467	444,260	32,417	32,419	32,421
その他特定目的基金	403,919	318,601	296,757	279,026	250,595	241,565	244,227	215,919	174,255	164,933
濁水対策施設維持管理基金	299,038	215,395	192,319	170,855	145,412	136,484	120,990	112,570	86,412	76,024
教育文化振興基金	54,090	52,253	53,369	56,986	53,892	53,691	70,769	51,825	36,271	36,292
地域福祉基金	50,791	50,953	51,069	51,185	51,291	51,390	52,468	51,524	51,572	51,603
森林経営管理基金										1,014
定額運用基金	18,514	18,572	18,614	20,156	20,194	20,230	20,258	20,278	20,296	20,307
土地開発基金	18,514	18,572	18,614	18,656	18,694	18,730	18,758	18,778	18,796	18,807
収入印紙等購買基金				1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
国民健康保険事業特別会計	72,969	74,971	78,000	78,000	106,117	106,117	106,117	106,117	117,734	101,734
国民健康保険基金	72,969	74,971	78,000	78,000	106,117	106,117	106,117	106,117	117,734	101,734
介護保険事業特別会計	31,555	17,912	19,342	15,625	0	9,573	18,866	34,666	53,266	53,266
介護給付費準備基金	31,323	17,912	19,342	15,625	0	9,573	18,866	34,666	53,266	53,266
介護従事者処遇改善臨時特例基金	231									
計	3,026,613	3,155,668	3,396,728	3,646,045	3,778,650	3,812,691	3,455,826	2,801,384	2,703,831	2,514,500

※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

基金残高の推移



基金残高（その他特定目的基金）の推移



4. 町債の状況

(1) 一般会計現在高

(単位：円)

区 分	平成30年度末 現在高	令和元年度中増減額		令和元年度末 現在高
		令和元年度中 起債額	令和元年度中 償還額	
1 建設地方債	1,652,769,780	353,600,000	176,596,955	1,829,772,825
(1) 総務債	27,620,000	0	1,240,000	26,380,000
役場庁舎非常用発電機設置事業[H30]	23,900,000	0	0	23,900,000
地方公共団体情報セキュリティ強化対策事業[H28 (H27繰越)]	3,720,000	0	1,240,000	2,480,000
(2) 民生債	10,900,000	26,500,000	0	37,400,000
地域福祉交流拠点施設整備事業債[H29 (H28繰越)]	10,900,000	0	0	10,900,000
第三保育園解体事業[R1]	0	26,500,000	0	26,500,000
(3) 衛生債	142,284,806	0	15,102,639	127,182,167
一般会計出資債(上水道事業)[H5~H17]	130,349,392	0	12,149,988	118,199,404
保健センター建設事業[H14]	11,935,414	0	2,952,651	8,982,763
(4) 農林水産業債	5,100,000	21,500,000	2,550,000	24,050,000
林道改良事業[H22 (H21繰越)]	5,100,000	0	2,550,000	2,550,000
林道新設事業[R1]	0	21,500,000	0	21,500,000
(5) 土木債	746,648,357	67,800,000	103,651,722	710,796,635
臨時地方道整備事業[H10~H18]	87,386,357	0	26,473,722	60,912,635

(単位：円)

区 分	平成30年度末 現在高	令和元年度中増減額		令和元年度末 現在高
		令和元年度中 起債額	令和元年度中 償還額	
上野田公園整備事業[H16~H17]	5,116,000	0	4,016,000	1,100,000
まちづくり交付金事業[H17~H21]	363,846,000	0	72,582,000	291,264,000
南下城山防災公園整備事業[H27~H30]	284,500,000	0	0	284,500,000
町営住宅下野田団地解体事業[H30]	5,800,000	0	580,000	5,220,000
道路改良事業[R1]	0	21,500,000	0	21,500,000
橋梁長寿命化事業[R1]	0	5,300,000	0	5,300,000
駒寄スマートIC大型車対応化事業[R1]	0	19,900,000	0	19,900,000
道路長寿命化事業[R1]	0	21,100,000	0	21,100,000
(6) 消防債	36,540,000	44,300,000	3,210,000	77,630,000
第1分団詰所建設事業[H24]	10,840,000	0	2,710,000	8,130,000
消防団無線デジタル化事業[H27]	3,500,000	0	500,000	3,000,000
防災無線デジタル化事業[H29~R1]	18,200,000	42,200,000	0	60,400,000
J-ALERT自動起動機更新事業[R1]	0	2,100,000	0	2,100,000
J-ALERT新型受信機設置事業[H30]	4,000,000	0	0	4,000,000
(7) 教育債	683,676,617	193,500,000	50,842,594	826,334,023
駒寄小学校プール建設事業[H14]	12,526,034	0	3,098,762	9,427,272
駒寄小学校校舎建設事業[H15]	187,748,369	0	17,215,305	170,533,064
駒寄小学校校舎大規模改造事業[H16]	26,906,000	0	2,446,000	24,460,000

(単位：円)

区	分	平成30年度末 現在高	令和元年度中増減額		令和元年度末 現在高
			令和元年度中 起債額	令和元年度中 償還額	
	明治小学校冷暖房改修事業[H17]	7,000,000	0	600,000	6,400,000
	吉岡中学校体育館改築事業[H22]	94,971,338	0	13,085,258	81,886,080
	明治小学校耐震改修事業[H23]	10,531,493	0	3,492,981	7,038,512
	吉岡中学校北校舎エレベーター設置事業[H25 (H24 繰越)]	13,730,000	0	2,740,000	10,990,000
	吉岡中学校南校舎防音改造事業[H25]	11,463,383	0	2,274,390	9,188,993
	社会体育館改修事業[H27]	78,000,000	0	4,580,000	73,420,000
	駒寄小学校トイレ改修事業[H28 (H27 繰越)]	30,400,000	0	0	30,400,000
	明治小学校校舎増築事業[H28]	84,500,000	0	0	84,500,000
	明小職員室改修事業[H30]	12,100,000	0	0	12,100,000
	町民プール解体事業[H30]	7,400,000	0	740,000	6,660,000
	駒小体育館用地取得事業[H30]	19,200,000	0	0	19,200,000
	駒小体育館改築事業[H30~R1]	45,500,000	92,500,000	0	138,000,000
	吉中校舎増築事業[H30~R1]	36,000,000	98,100,000	0	134,100,000
	吉中ブロック塀改修事業[H30]	5,700,000	0	569,898	5,130,102
	明小給水管更新事業[R1]	0	1,400,000	0	1,400,000
	吉中特別教室改修事業[R1]	0	1,500,000	0	1,500,000

(単位：円)

区 分	平成30年度末 現 在 高	令和元年度中増減額		令和元年度末 現 在 高
		令和元年度中 起 債 額	令和元年度中 償 還 額	
2 財源対策のための地方債	2,819,733,255	244,500,000	271,412,634	2,792,820,621
(1) 減税補てん債[H11~H18]	46,175,948	0	10,696,761	35,479,187
(2) 臨時財政対策債[H13~R1]	2,773,557,307	244,500,000	260,715,873	2,757,341,434
計	4,472,503,035	598,100,000	448,009,589	4,622,593,446

(2) 会計別現在高

(単位：円)

区 分	平成30年度末 現 在 高	令和元年度中増減額		令和元年度末 現 在 高
		令和元年度中 起 債 額	令和元年度中 償 還 額	
一般会計	4,472,503,035	598,100,000	448,009,589	4,622,593,446
建設地方債	1,652,769,780	353,600,000	176,596,955	1,829,772,825
財源対策のための地方債	2,819,733,255	244,500,000	271,412,634	2,792,820,621
特別会計	2,572,583,074	101,500,000	214,101,647	2,459,981,427
公共下水道事業	1,629,230,647	93,600,000	141,704,104	1,581,126,543
農業集落排水事業	943,352,427	7,900,000	72,397,543	878,854,884
水道事業会計	1,070,983,331	0	73,623,073	997,360,258
計	8,116,069,440	699,600,000	735,734,309	8,079,935,131

※ 建設地方債：地方財政法で通常認められている地方債で、学校等の建物のほか、道路・橋りょう・公園等の建設事業のための借入金です。

※ 財源対策のための地方債：特別法等で財源不足を補うために特別に認められている地方債で、「臨時財政対策債」、「減税補てん債」、「臨時税収補てん債」が含まれます。

※ 臨時財政対策債：地方交付税が国の予算不足により満額交付されないため、財源不足額を補てんするために平成13年度から地方自治体で借り入れているもの。後年度の元利償還金（借入金返済金）は、地方交付税で100%措置されます。

※ 減税補てん債：平成6年度～平成18年度の税制改正による地方税の減収額を補てんするために借り入れたもの。

※ 臨時税収補てん債：地方消費税の創設時に、導入初年度は通年分が収入できないため、その税収を補てんするために平成9年度に借り入れたもの。

(3) 会計別現在高（町民1人あたり）

平成30年度末現在高は、平成30年度末現在の町債残高を平成31年3月31日現在の人口で割ったものです。

令和元年度中増減額・令和元年度末現在高は、令和元年度中増減額・令和元年度末現在の町債残高を、それぞれ令和2年3月31日現在の人口で割ったものです。

（単位：円）

区 分	平成30年度末 現 在 高	令和元年度中増減額		令和元年度末 現 在 高
		令和元年度中 起 債 額	令和元年度中 償 還 額	
一般会計	208,304	27,555	20,640	212,964
建設地方債	76,977	16,290	8,136	84,298
財源対策のための地方債	131,328	11,264	12,504	128,666
特別会計	119,817	4,676	9,864	113,332
公共下水道事業	75,881	4,312	6,528	72,843
農業集落排水事業	43,936	364	3,335	40,489
水道事業会計	49,880	0	3,392	45,949
計	378,001	32,231	33,895	372,244

※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

(4) 会計別現在高（1世帯あたり）

平成30年度末現在高は、平成30年度末現在の町債残高を平成31年3月31日現在の世帯数で割ったものです。

令和元年度中増減額・令和元年度末現在高は、令和元年度中増減額・令和元年度末現在の町債残高を、それぞれ令和2年3月31日現在の世帯数で割ったものです。

（単位：円）

区 分	平成30年度末 現 在 高	令和元年度中増減額		令和元年度末 現 在 高
		令和元年度中 起 債 額	令和元年度中 償 還 額	
一般会計	554,695	72,594	54,377	561,062
建設地方債	204,982	42,918	21,434	222,087
財源対策のための地方債	349,713	29,676	32,942	338,976
特別会計	319,060	12,319	25,986	298,578
公共下水道事業	202,063	11,361	17,199	191,908
農業集落排水事業	116,998	959	8,787	106,670
水道事業会計	132,827	0	8,936	121,054
計	1,006,582	84,913	89,299	980,694

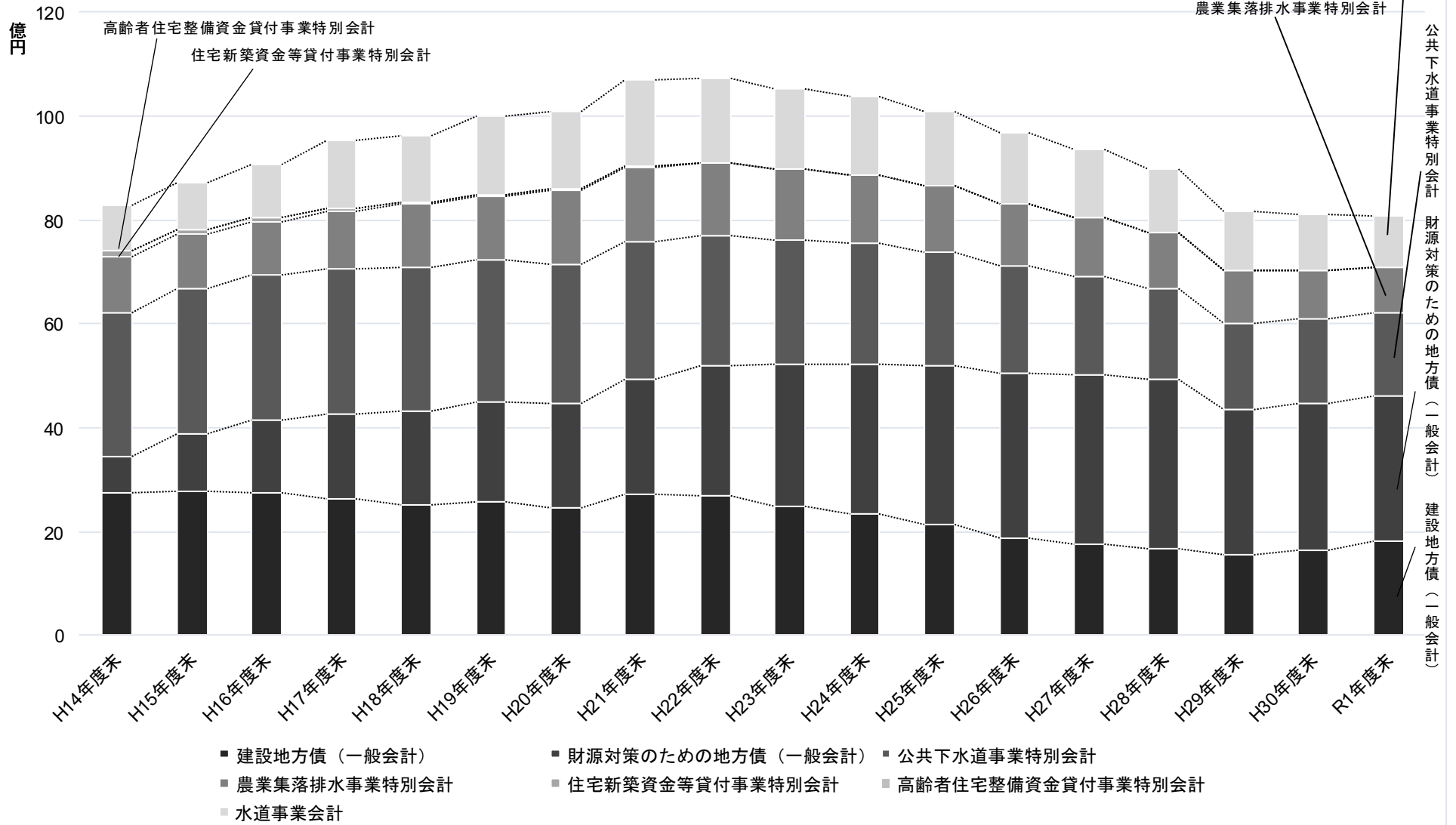
※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

(5) 町債残高の推移

(単位：千円)

区 分	H22 年度末	H23 年度末	H24 年度末	H25 年度末	H26 年度末	H27 年度末	H28 年度末	H29 年度末	H30 年度末	R 元年度末
一 般 会 計	5,190,931	5,224,769	5,229,477	5,196,334	5,053,281	5,014,888	4,923,727	4,350,041	4,472,503	4,622,593
建設地方債	2,685,906	2,501,629	2,330,591	2,143,503	1,889,494	1,773,330	1,684,478	1,543,836	1,652,769	1,829,772
臨時財政特例債	168									
調整債	211									
減税補てん債	231,170	200,912	170,239	139,179	107,669	92,628	77,331	61,833	46,177	35,480
臨時税収補てん債	28,089	24,312	20,459	16,529	12,518	8,428	4,256	0	0	0
臨時財政対策債	2,245,387	2,497,916	2,708,188	2,897,123	3,043,600	3,140,502	3,157,662	2,744,372	2,773,557	2,757,341
特 別 会 計	3,920,776	3,755,524	3,641,514	3,467,388	3,273,460	3,047,766	2,835,222	2,672,525	2,572,583	2,459,982
公共下水道事業	2,518,652	2,383,764	2,318,913	2,197,018	2,065,946	1,906,484	1,761,486	1,660,143	1,629,231	1,581,127
農業集落排水事業	1,389,808	1,363,468	1,315,656	1,264,843	1,203,484	1,138,830	1,072,542	1,011,772	943,352	878,855
住宅新築資金等貸付事業	12,316	8,292	6,945	5,527	4,030	2,452	1,194	610	0	0
水道事業会計	1,616,838	1,559,760	1,501,095	1,436,759	1,369,423	1,295,593	1,220,229	1,142,747	1,070,983	997,360
計	10,728,545	10,540,053	10,372,086	10,100,481	9,696,164	9,358,247	8,979,178	8,165,313	8,116,069	8,079,935

町債残高の推移

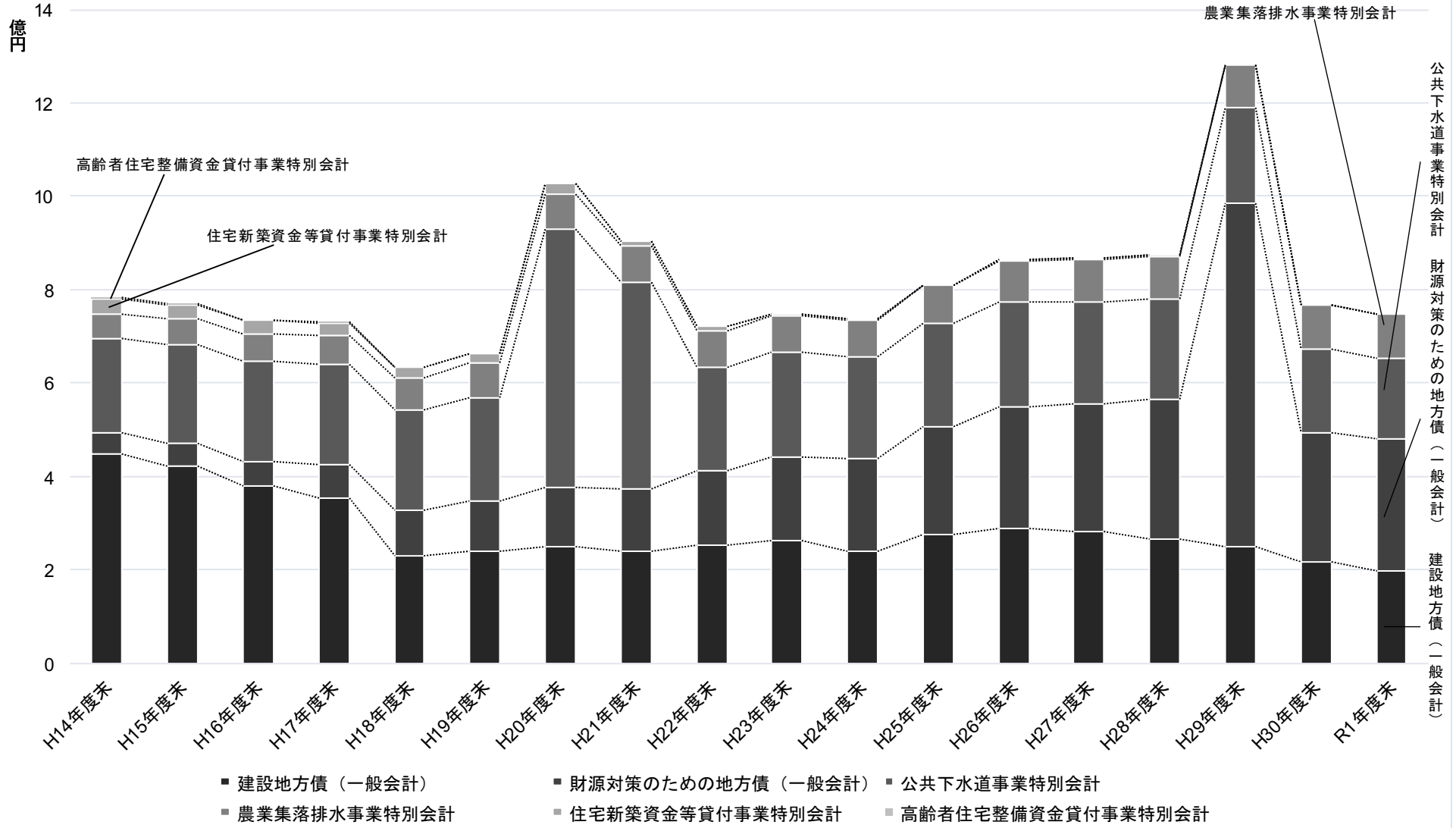


(6) 公債費の推移

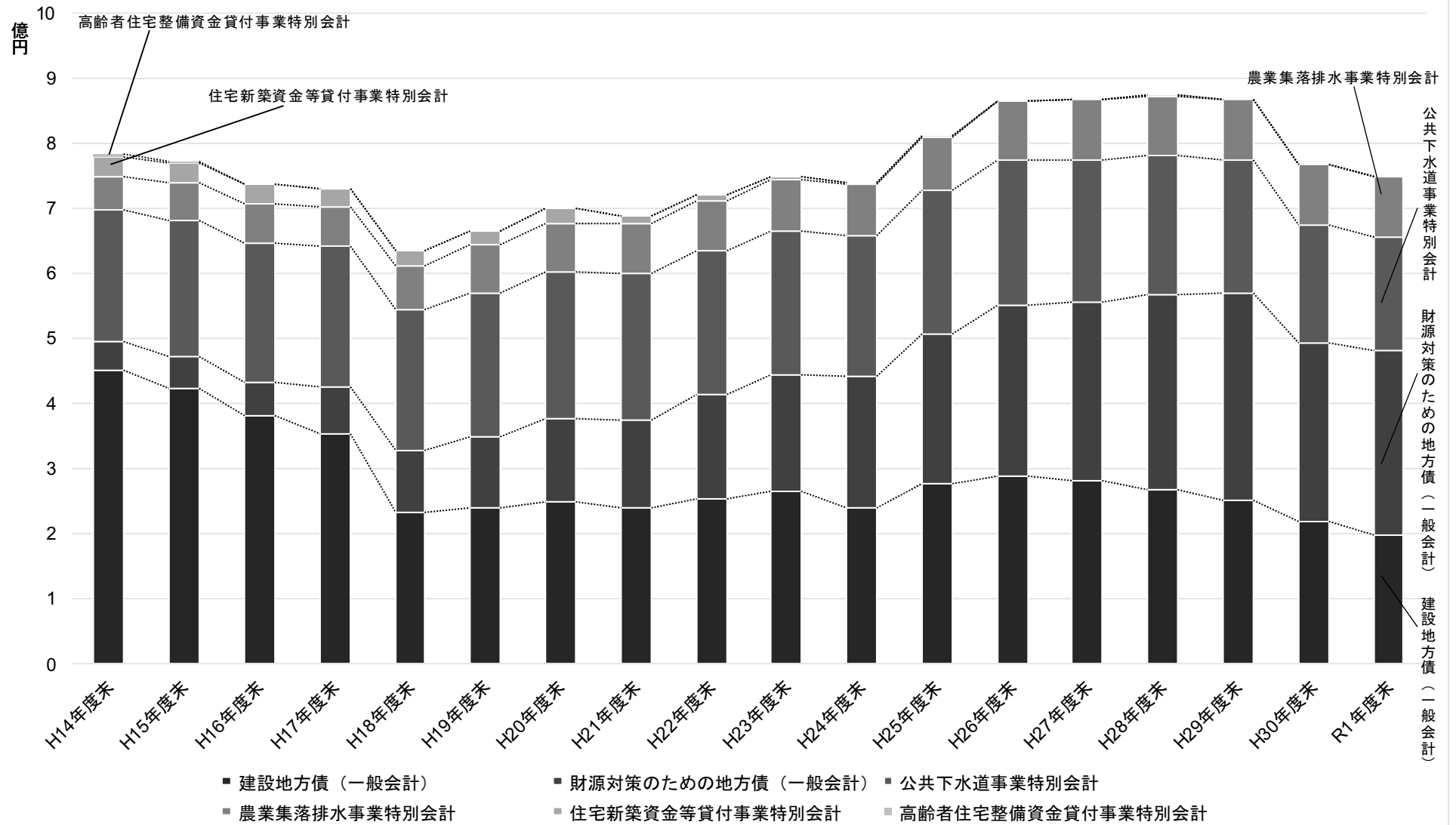
(単位：千円)

区 分	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度
一 般 会 計	412,349	442,590	439,938	506,966	550,543	554,814	566,501	986,508	492,844	481,633
建設地方債	253,385	264,008	239,329	276,244	287,798	281,303	267,270	249,338	217,491	196,113
臨時財政特例債	241	174								
調整債	467	218								
減税補てん債	33,226	33,227	33,172	33,151	33,050	16,116	16,019	15,969	15,969	10,872
臨時税収補てん債	4,321	4,320	4,320	4,320	4,321	4,320	4,320	4,320	0	0
臨時財政対策債	120,709	140,643	163,117	193,251	225,374	253,075	278,892	716,881	259,384	274,648
うち繰上償還分								416,520		
特 別 会 計	308,738	304,849	297,628	302,927	314,135	312,485	306,760	296,151	274,615	265,506
公共下水道事業	222,245	222,616	216,303	219,846	221,891	218,512	213,184	203,304	181,027	172,339
うち繰上償還分										
農業集落排水事業	76,729	77,637	79,570	81,326	90,489	92,218	92,219	92,218	92,958	93,167
住宅新築資金等貸付事業	9,764	4,596	1,755	1,755	1,755	1,755	1,357	629	630	0
計	721,087	747,439	737,566	809,893	864,678	867,299	873,261	1,282,659	767,459	747,139

公債費の推移



公債費の推移（繰上償還除く）



5. 主要事業一覧表

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
1 一般管理費	継続	組織機構 改革業務 13,083,248 円 (14,241 千円)	11 需用費 ・ 消耗品費 (組織機構改革) 984,796	1,705,000	59P	適正かつ効率的・効果的な行政サービスの展開 に向け新たな業務体制構築への検討を行った結 果、「簡素・スリム」な行政運営に加え、「柔軟か つ強靱な行政経営」を推進するため窓口事務の統 合化による庁内スペースの有効活用を基本方針に 11 課局 20 室に再編、42 の係を新たに設置した。 その他窓口案内・誘導環境の整備として総合案 内の設置、課毎にサイン及びカウンターの色別化、 窓口カウンター形状を改修するとともに関係課を 対面・隣接配置した。また、快適・円滑な手続き 環境の整備としてローカウンターの設置、番号発 券機 (受付番号表示パネル) の設置を行った。	総務政策課 (政策室)	町民 行政
	13 委託料 ・ 組織機構改革支援業務委託	3,504,270	61P					
			15 工事請負費 ・ 庁舎改修工事 (組織機構改革)	6,889,182				
			18 備品購入費 ・ 庁用器具 (組織機構改革)	13,083,248	—			
			○ 一般財源					
	継続	自治会事務委託 39,240,000 円 (39,240 千円)	13 委託料 ・ 自治会事務委託料	39,240,000	59P	広報誌、行政連絡文書の配布・回覧等を委託し、 住民サービスの充実及び町政の能率的かつ円滑な 運営が図られた。	町民生活課 (町民サービス室)	町民 行政
			○ 一般財源	39,240,000	—			

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
1 一般管理費	継続	自治会活動 支援事業 8,642,750円 (8,683千円)	8 報償費			より良い地域づくりを目指すことを目的として自治会活動の全般にわたり助成を行った。地域づくりの拠点となる集会施設の修理費用や維持管理の一部を助成し、地域住民の福祉の向上を図った。各自治会において、地域づくり振興事業として「ふれあい交流会」、「夏祭り」等自主的な取組による地域に根差した活動の支援をした。集会施設等整備事業としては、大久保寺上自治会の広場舗装、遊具設置工事の実績に対し補助金を交付した。	町民生活課 (町民サービス室)	町民 行政
			・講師謝礼	20,000	57P			
			14 使用料及び賃借料					
			・住民広場借地料	1,212,750	59P			
			19 負担金、補助及び交付金					
			・自治会振興助成金	2,600,000	61P			
			・自治会連合会活動補助金	100,000				
・地域づくり振興事業補助金	1,290,000							
・集会施設地代助成事業補助金	120,000							
・集会施設等整備事業補助金	700,000							
・魅力あるコミュニティ助成事業 助成金	2,000,000							
・集会施設維持管理における交付 金	600,000							
21 諸収入								
・魅力あるコミュニティ助成事業 助成金	2,000,000	45P						
○ 一般財源	6,642,750	—						

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳						
6 企画費	新規	プレミアム 商品券事業 15,468,481 円 (23,447 千円)	3 職員手当等			65P	消費税率・地方消費税率の引き上げに伴い、低所得者及び子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起するためにプレミアム付商品券の販売を行った。 また、一部委託料を令和2年度に繰り越した。 なお、国庫支出金の精算は令和2年度に行う予定。	産業建設課 (産業振興室)	健康 福祉 産業 雇用
			・時間外手当 (プレミアム商品券)	858,229					
			4 共済費						
			・社会保険料 (プレミアム商品券)	152,927					
			7 賃金						
			・臨時賃金 (プレミアム商品券)	1,067,175					
			11 需用費						
			・消耗品費 (プレミアム商品券)	62,816					
			12 役務費						
			・郵便料 (プレミアム商品券)	677,727					
13 委託料			67P	購入引換券交付：1,796 人 購入限度額：1セット (500 円券×10 枚) 4,000 円で5セットまで プレミアム率：25% 商品券購入冊数：6,711 冊 販売期間：令和元年10月1日～令和2年2月28日 使用期間：令和元年10月1日～令和2年3月31日					
・プレミアム商品券事業委託料	10,471,190								
・電算業務委託料 (プレミアム商品券) (繰越明許)	2,178,417								
15 国庫支出金			25P						
・プレミアム商品券事務費補助金	7,316,381								
・プレミアム商品券事業費補助金	6,247,900								
・プレミアム商品券事務費補助金 (繰越明許)	1,462,000								

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
6 企画費	新規	第2期総合戦略 策定業務 110,100円 (371千円)	8 報償費 ・謝礼(企画費)	104,400	65P	まち・ひと・しごと創生法に基づき、令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間とする第2期総合戦略を策定。 吉岡町の地域の実情及び人口の現状分析により課題を明確にし今後目指すべき将来の方向性と人口の将来展望を提示する人口ビジョンを踏まえ、将来の目標や主な施策・事業の計画を策定した。	総務政策課 (政策室)	町民 行政
			9 旅費 ・普通旅費(企画費)	1,200				
			11 需用費 ・食糧費(企画費)	4,500	67P			
			○ 一般財源	110,100	—			
6 企画費	新規	地球温暖化対策 実行計画 策定業務 1,650,000円 (1,870千円)	13 委託料 ・地球温暖化対策実行計画策定 業務委託料	1,650,000	67P	「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、町の事務事業により排出される温室効果ガスの削減を図るとともに、町の取組みを示すことで町民等の自主的な温室効果ガスの排出削減を促し、削減目標や行動を示すことで、地球温暖化防止対策を総合的かつ計画的に推進することを目的として策定した。	総務政策課 (政策室)	自然 環境
			○ 一般財源	1,650,000	—			
6 企画費	継続	イメージアップ 事業 96,538円 (100千円) 総合戦略	8 報償費 ・謝礼(企画費)	35,200	65P	町のフォトコンテストの開催は今回で4回目。ラジオ、広報、ホームページ等で周知活動をし、応募数は18点であった。町の魅力を再発見するとともに、広報やホームページにて町の魅力を広く内外に発信した。	総務政策課 (政策室)	町民 行政
			・イメージアップ事業記念品 (企画費)	60,838				
			11 需用費 ・食糧費(企画費)	500	67P			
			○ 一般財源	96,538	—			

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
6 企画費	継続	相乗り推奨 タクシー運賃等 助成事業 509,480円 (800千円) 総合戦略	11 需用費 ・印刷製本費(交通対策事業用) 87,480		67P	交通不便地区・空白地区の解消に向けた取組みとして、交通弱者がタクシーを利用した際に支払う運賃等の一部を助成することにより、タクシーを活用した外出機会の創出を図り、もって日常生活の利便性の向上に資することを目的として、実証実験を行っていたが、当該事業が本地域の移動手段に適した公共交通システムと位置づけ、平成30年度から本格実施した。	総務政策課 (政策室)	安全 便利
		13 委託料 ・相乗り推奨タクシー運賃等助成事業委託料 422,000						
			○ 一般財源 509,480		—			
	継続	高校生等 通学支援事業 1,104,000円 (1,500千円) 総合戦略	19 負担金、補助及び交付金 ・高校生等通学支援事業補助金 1,104,000		67P	公共交通の利用促進と高校生等を持つ世帯の経済的負担を軽減するために、通学定期に対する補助事業を実施した。5,000円/月以上で1,000円、10,000円/月以上で2,000円の補助を行い、多くの利用をいただいた。	総務政策課 (政策室)	安全 便利
		○ 一般財源 1,104,000		—				
	継続	ふるさと祭り 2,324,713円 (2,326千円)	11 需用費 ・消耗品費(ふるさと祭り) 796,546 ・食糧費(ふるさと祭り) 75,688 ・印刷製本費(ふるさと祭り) 180,079		65P 67P	誰もが気軽に参加でき、楽しみながら親交を深め合い、明るく心豊かな町づくりに寄与することを目的とし、令和元年10月13日(日)に役場北駐車場にてふるさと祭りを実施予定であったが、令和元年10月12日(土)に上陸した令和元年東日本台風の影響により、中止となった。	町民生活課 (生活環境室)	町民 行政
		13 委託料 ・業務委託料(ふるさと祭り) 1,012,400						
		19 負担金、補助及び交付金 ・ふるさと祭り交付金 260,000		69P				
		○ 一般財源 2,324,713		—				

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
8 諸費	継続	防犯カメラ 設置事業 1,622,249 円 (1,677 千円) 総合戦略	11 需用費 ・防犯カメラ電気料 104,863 ・防犯カメラ修繕料 15,336		69P	住民の安心・安全、児童・生徒の通学路の安全確保、町有施設の安全管理を目的として、防犯カメラを4台設置した。	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利
		15 工事請負費 ・防犯カメラ設置工事 1,502,050 ○ 一般財源 1,622,249		—				
	継続	放課後児童 見守り パトロール事業 2,138,400 円 (2,309 千円) 総合戦略	13 委託料 ・放課後児童見守りパトロール委託 2,138,400 ○ 一般財源 2,138,400		69P —	子育て世代が安心して育児に取り組める環境の整備を目的として、放課後児童見守りパトロールを実施した。見守りパトロールの内容は、公益社団法人吉岡町シルバー人材センターに委託し、町の青色回転灯装備車両を使用し、児童の下校時間に合わせて午後2時30分から午後7時30分のパトロールを233日実施した。	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利
10 交通対策費	継続	道路交通安全 施設整備事業 4,958,663 円 (5,000 千円)	15 工事請負費 ・道路交通安全施設工事 4,958,663 12 交通安全対策特別交付金 ・交通安全対策特別交付金 3,667,000 ○ 一般財源 1,291,663		71P 19P —	道路反射鏡(19箇所)、区画線(2,495.2m)の整備と赤灯撤去工事(1箇所)を行い、交通安全の向上を図った。	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利

(款) 2 総務費

(項) 4 選挙費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
2 県知事選挙 費	新規	県知事選挙費 5,318,175 円 (5,325 千円)	1 報酬		79P	群馬県知事選挙に係る選挙事務 【実績】 当日有権者数 16,996 人 投票者数 8,542 人 投票率 50.26%	総務政策課 (庶務行政室)	町民 行政
			・投票管理者	75,566				
			・開票管理者	3,600				
			・開票立会人	26,700				
			・投票立会人	157,600				
			3 職員手当等					
			・投開票事務従事者手当	1,580,775				
			8 報償費					
			・ポスター掲示場設置謝礼	20,898				
			11 需用費					
			・選挙事務用品	123,944				
			・食糧費	143,060				
			・印刷製本費	91,540				
			・修繕料	212,730				
			12 役務費					
			・郵便料	244,958				
			・臨時電話料	33,988				
13 委託料								
・ポスター掲示場設置撤去委託	437,076							
・投開票施設設置撤去委託	394,200							
・選挙事務電算委託	551,340							
14 使用料及び賃借料								
・投票所借上料	25,000							
18 備品購入費								
・選挙用備品	1,195,200							
16 県支出金		37P						
・県知事選挙費	5,318,175							

(款) 2 総務費

(項) 4 選挙費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
3 県議会議員 選挙費	継続	県議会議員 選挙費 7,100,625 円 (7,107 千円)	1 報酬			群馬県議会議員選挙に係る選挙事務 【実績】 当日有権者数 16,888 人 投票者数 8,891 人 投票率 52.65%	総務政策課 (庶務行政室)	町民 行政
			・投票管理者	139,650				
			・開票管理者	10,600				
			・開票立会人	26,400				
			・投票立会人	323,300				
			3 職員手当等					
			・投開票事務従事者手当	3,210,552				
			8 報償費					
			・ポスター掲示場設置謝礼	41,796				
			11 需用費		79P			
			・選挙事務用品	103,151				
			・食糧費	204,726				
			12 役務費					
			・郵便料	472,960				
			・臨時電話料	72,370				
			13 委託料					
			・ポスター掲示場設置撤去委託	430,920				
・投開票施設設置撤去委託	594,000							
・選挙事務電算委託	908,280							
14 使用料及び賃借料								
・著作権使用料	21,600							
・投票所借上料	50,000	81P						
18 備品購入費								
・選挙用備品	490,320							
16 県支出金								
・県議会議員選挙費	6,482,755	37P						
○ 一般財源	617,870	—						

(款) 2 総務費

(項) 4 選挙費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
4 町長・町議会議員選挙費	新規	町長・町議会議員選挙費 5,117,663 円 (5,122 千円)	1 報酬		81P	吉岡町長及び吉岡町議会議員選挙に係る選挙事務 【実績】 両選挙共に無投票。	総務政策課 (庶務行政室)	町民行政
			・選挙長	10,600				
			・選挙立会人	88,000				
			8 報償費					
			・ポスター掲示場設置謝礼	43,653				
			11 需用費					
			・選挙事務用品	622,281				
			・食糧費	6,400				
			・印刷製本費	1,008,558				
			・修繕料	119,718				
			12 役務費					
			・郵便料	576,773				
			13 委託料					
・ポスター掲示場設置撤去委託	1,846,800							
・選挙事務電算委託	704,160							
18 備品購入費								
・選挙用備品	90,720							
○一般財源	5,117,663	—						

(款) 2 総務費

(項) 4 選挙費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳						
5 参議院議員 選挙費	新規	参議院議員 選挙費 7,719,405 円 (7,728 千円)	1 報酬			81P	参議院議員選挙に係る選挙事務 【実績】 (選挙区) 当日有権者数 17,169 人 投票者数 8,549 人 投票率 49.79% (比例代表) 当日有権者数 17,169 人 投票者数 8,551 人 投票率 49.80%	総務政策課 (庶務行政室)	町民 行政
			・投票管理者	151,134					
			・開票管理者	7,200					
			・開票立会人	62,300					
			・投票立会人	315,200					
			3 職員手当等						
			・投開票事務従事者手当	3,161,549					
			8 報償費						
			・ポスター掲示場設置謝礼	20,898					
			11 需用費						
			・選挙事務用品	123,945					
			・食糧費	143,059					
			・印刷製本費	99,100					
			・修繕料	445,530					
			12 役務費						
			・郵便料	253,886					
・臨時電話料	33,988								
13 委託料									
・ポスター掲示場設置撤去委託	437,076								
・投開票施設設置撤去委託	394,200								
・選挙事務電算委託	551,340								
14 使用料及び賃借料									
・投票所借上料	25,000								
18 備品購入費									
・選挙用備品	1,494,000								
16 県支出金									
・参議院議員選挙費	7,719,405			37P					

(款) 3 民生費

(項) 1 社会福祉費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
4 老人福祉費	継続	ねたきり老人等 介護慰労金事業 4,230,000 円 (4,500 千円)	20 扶助費 ・介護慰労金 4,230,000	89P	在宅で介護している介護者の労をねぎらうため、年1回支給する。 ・支給対象 1年間継続して要介護状態で、入院入所が年間100日以内の方を介護している家族等。 【実績】 要介護1・2 20,000 円 56名 要介護3 40,000 円 14名 要介護4 100,000 円 9名 要介護5 150,000 円 11名	健康福祉課 (高齢福祉室)	健康福祉	
	16 県支出金 ・新・介護慰労金支給事業費補助金(県単) ○ 一般財源 4,170,000		33P —					
4 老人福祉費	継続	敬老祝金品 支給事業 6,865,410 円 (7,102 千円)	8 報償費 ・敬老の日祝い品 667,484	87P	敬老の意を表するため、祝金を年1回支給する。 【実績】 80.85歳 10,000 円 244名 88.90.95.101歳以上 20,000 円と祝品 172名 100歳 50,000 円と祝品 5名	健康福祉課 (高齢福祉室)	健康福祉	
	11 需用費 ・消耗品費 26,426 ・食糧費 41,500 20 扶助費 ・敬老年金 6,130,000 ○ 一般財源 6,865,410		89P —					

(款) 3 民生費

(項) 1 社会福祉費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
4 老人福祉費	継続	地域福祉交流 拠点施設事業 281,032 円 (342 千円) <u>総合戦略</u>	11 需用費 ・ 消耗品費 15,425 (地域福祉交流拠点施設) ・ 電気料 103,234 (地域福祉交流拠点施設) ・ 上下水道料 105,624 (地域福祉交流拠点施設) ・ 修繕料 56,749 (地域福祉交流拠点施設) ○ 一般財源 281,032		87P	地域の誰もが気軽に利用可能な地域福祉交流拠点施設として、認知症カフェを始めとした様々な事業を展開することにより地域コミュニティの再生を図り、地域から疎遠となり本町を転出してしまいう高齢者等の定住を促進する。 吉岡町社会福祉協議会のサポートのもと、ボランティアが主体となった運営を行い、関係機関と連携し、地域の福祉拠点としての機能を充実させるとともに、ボランティアの育成を図る。	健康福祉課 (高齢福祉室)	健康福祉
	継続	介護保険事業 特別会計繰出金 192,413,326 円 (205,088 千円)	28 繰出金 ・ 介護保険事業特別会計繰出金 192,413,326 ----- 15 国庫支出金 ・ 低所得者介護保険料軽減負担金 3,679,200 (現年度分) 16 県支出金 ・ 低所得者介護保険料軽減負担金 1,880,100 (現年度分) 19 繰入金 ・ 介護保険事業特別会計繰入金 478,000 ○ 一般財源 186,376,026		89P ----- 25P ----- 31P ----- 41P ----- ---	介護保険事業特別会計への繰出金	健康福祉課 (高齢福祉室)	健康福祉

(款) 3 民生費

(項) 1 社会福祉費

(単位：円)

44/90

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
6 障害者福祉費	継続	障害者自立 支援事業 296,955,646 円 (317,212 千円)	11 需用費		89P	障害を抱える方の日常生活及び社会生活を支えるため、障害福祉サービス費、補装具費、障害者医療費等の支給を行う。	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉
			・消耗品費	18,387				
			・印刷製本費	39,960				
			12 役務費					
			・自立支援医療費支払手数料	3,341				
			・障害福祉サービス費支払手数料	413,250				
			・育成医療審査手数料	6,540				
			13 委託料					
			・システム改修費	238,940				
			14 使用料及び賃借料					
			・障害システムリース料	627,840				
			18 備品購入費					
			・国保連保険者通信端末	138,240				
			19 負担金、補助及び交付金		91P	【障害福祉サービス等事業実績(延件数)】 ・居宅介護(276件) ・同行援護(56件) ・療養介護(36件) ・生活介護(385件) ・短期入所(78件) ・施設入所支援(297件) ・共同生活援助(197件) ・自立訓練(68件) ・就労移行支援(55件) ・就労継続支援(454件) ・サービス利用計画等(335件) ・地域定着支援(32件)		
			・居宅介護	20,701,330				
			・療養介護	9,262,010				
			・生活介護	85,274,864				
			・短期入所	7,775,753				
			・施設入所支援	36,373,999				
			・同行援護	3,179,318				
			・自立訓練	9,145,910				
			・就労移行支援	9,167,658				
			・就労継続支援	63,333,942				
・共同生活援助	18,847,485							
・計画相談支援費	5,677,641							
・地域定着支援費	98,038							
20 扶助費		93P	【補装具事業実績(延件数)】 ・補装具(26件)					
・障害福祉サービス利用給付金	229,281							
・更生医療給付	4,741,094							
・育成医療給付	334,624							
・補装具交付	2,359,453							
・補装具修理	459,756							
・療養介護医療費	2,510,161							
・高額障害福祉サービス費等	199,713							
23 償還金、利子及び割引料		93P						
・返納金	15,797,118							
15 国庫支出金		23P	【障害者医療費事業実績(実件数)】 ・更生医療(3件) ・育成医療(4件) ・療養介護医療(3件)					
・障害者自立支援給付費国庫負担金	144,683,000							
・障害者医療費国庫負担金	5,835,000							
・障害者自立支援給付費審査支払等システム事業補助金	96,000	25P						
16 県支出金		29P						
・障害者自立支援給付費県負担金	72,341,500							
・障害者医療費県負担金	2,917,500							
・障害福祉サービス利用給付事業補助金	171,000	33P						
○ 一般財源		—						
			70,911,646					

(款) 3 民生費

(項) 1 社会福祉費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳						
6 障害者福祉 費	継続	障害児支援事業 104,603,770円 (129,546千円)	13 委託料				児童発達支援、放課後等デイサービス利用者に対し、障害児通所支援費の支給を行う。 また、支援費の受給者に対し、どのようにサービスを利用していくかの計画作成をし、定期的にモニタリングを行い相談支援費を支給する。 ・児童発達支援給付 延150人 ・放課後等デイサービス 延566人 ・高額障害児通所給付 延4人 ・障害児相談支援給付 延139人	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉
			・障害福祉システム改修費	385,000	89P				
			19 負担金、補助及び交付金						
			・障害児通所支援	78,386,632	91P				
			・障害児相談支援	2,872,616					
			20 扶助費						
			・高額障害児(通所・入所)給付費	25,300					
			23 償還金、利子及び割引料						
			・返納金	22,934,222	93P				
			15 国庫支出金						
・障害児支援費国庫負担金	53,052,600	23P							
・障害児自立支援給付審査支払等システム事業補助金	385,000	25P							
16 県支出金									
・障害児支援費県負担金	26,526,300	31P							
○ 一般財源	24,639,870	—							

(款) 3 民生費

(項) 1 社会福祉費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
7 医療福祉費	継続	医療費無料化 事業 202,451,194 円 (218,976 千円)	11 需用費		93P	子ども、重度心身障害者、母子・父子家庭の方の健康管理の向上に寄与するために、社会保険等で医療を受けた場合の自己負担分を公費で負担する。 【実施内容】 件数 74,281 件で 701 件増 医療費 197,666,942 円で 4,358,032 円減	健康福祉課 (保険室)	健康福祉
			・消耗品費	15,844				
			・印刷製本費(事業用)	54,000				
			12 役務費					
			・郵便料	8,820				
			13 委託料					
			・保険者事務電算処理委託料	1,267,558				
			・医療助成システム改修業務委託料	52,800				
			・審査支払委託料	3,385,230				
			20 扶助費					
・医療費	197,666,942							
16 県支出金		33P						
・医療福祉費県補助金	94,872,268							
21 諸収入		45P						
・福祉医療費納入金	2,429,595							
○ 一般財源	105,149,331	—						
9 老人福祉センター費	継続	老人福祉センター 管理業務 19,119,000 円 (19,119 千円)	13 委託料		95P	老人福祉センターの管理を、社会福祉法人吉岡町社会福祉協議会を指定管理者として行わせることにより、効率的運営と住民福祉の向上を図る。	健康福祉課 (高齢福祉室)	健康福祉
			・老人福祉センター指定管理料	19,119,000				
			○ 一般財源	19,119,000				

(款) 3 民生費

(項) 2 児童福祉費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
1 児童福祉総務費	継続	赤ちゃんの駅 (情報マップ) 93,500円 (123千円) 総合戦略	11 需用費 ・印刷製本費 93,500	95P	95P	渋川広域圏で実施する地方創生事業であり、外出中におむつ替えや授乳などで誰でも自由に立ち寄ることができる公共施設や民間施設を「赤ちゃんの駅」として指定する。 令和元年度は、新たに指定された施設はなし。 情報マップの増刷のみ実施となった。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉
	○ 一般財源 93,500	—						
	継続	ファミリー・サポート・センター事業 569,931円 (642千円)	13 委託料 ・ファミサポセンター 広域委託料 569,931	95P	—	地域子ども・子育て支援事業のひとつで、「育児援助を受けたい人」と「育児援助を行いたい人」が会員となり、センターを通じて子育ての相互援助活動(子どもの預かり・保育施設等への送迎など)を有料で行うもの。 渋川広域圏で共同実施しており、吉岡町住民の利用分について、渋川市に委託料を支出した。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉
継続	産前・産後サポート事業 29,444円 (55千円) 総合戦略	13 委託料 ・産前・産後サポート 広域委託料 29,444	95P	—	育児・家事等の支援を必要とする、産前・産後期の母親の精神的・肉体的負担を軽減し、安心して育児や日常生活が営めるよう支援する。 1回につき1,700円(2時間)で、3回までを町が負担し、4回目以降は自己負担となる。ただし、多胎妊娠の場合は6回までを町が負担する。 渋川広域圏で共同実施しており、吉岡町住民の利用分について、渋川市に委託料を支出した。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉	

(款) 3 民生費

(項) 2 児童福祉費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳						
1 児童福祉総務費	継続	子ども・子育て支援事業計画策定業務 3,564,000円 (4,000千円)	11 需用費		95P	吉岡町子ども・子育て支援事業計画は、平成27年度から平成31年度までの5年間の事業年度として策定されている。 令和2年度からの次期事業計画策定にあたり、平成30年度に実施した住民アンケート調査を基礎資料とした事業計画を業務委託により作成した。 また、事業計画の中に子どもの貧困対策も併せて記載し、計画を作成した。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉	
			・印刷製本費	99,000					
			13 委託料						
			・子ども・子育て支援計画 作成業務委託料	3,465,000					
			○ 一般財源	3,564,000	—				
2 児童手当費	継続	児童手当支給事業 399,140,000円 (400,200千円)	20 扶助費		97P	児童の年齢等に応じて、以下の手当を支給した。 児童手当支給延児童数 34,918人 特例給付支給延児童数 1,319人 ・0～3歳未満:15,000円/月 ・3歳～小学生(第1・2子):10,000円/月 ・3歳～小学生(第3子以降):15,000円/月 ・中学生:10,000円/月 ・特例給付:5,000円/月	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉	
			・児童手当	399,140,000					
			15 国庫支出金		23P				
			・児童手当国庫負担金	279,311,665					
			16 県支出金		31P				
・児童手当県負担金	59,914,165								
			○ 一般財源	59,914,170	—				

(款) 3 民生費

(項) 2 児童福祉費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
3 児童保育費	継続	子どものための 教育・保育給付 933,054,308 円 (946,223 千円)	13 委託料		97P	子ども・子育て支援新制度により、従来バラバラに行われていた認定こども園、幼稚園、保育所等に対する国の財政支援の仕組みが統一されたもの。令和元年度も、町内及び町外の保育所、認定こども園、幼稚園に対して支払いを行った。 ・保育所運営委託 保育を必要とする乳幼児を対象に、健全な心身の発達を目的として、町内在住の乳幼児が通う町内外の私立及び公立の認可保育所に対して委託料を支払う。 ・施設型給付 町内在住の乳幼児が通う町内外の認定こども園、幼稚園等に支払いを行う。 令和元年度も、町内外の各認定こども園、幼稚園に対して支払いを行った。 なお、施設型給付に移行しない幼稚園については、幼稚園就園奨励補助の対象となる。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉
			・保育所運営委託料	701,659,700				
			19 負担金、補助及び交付金		19P			
			・施設型給付費	231,394,608				
			10 地方特例交付金		21P			
			・子ども・子育て支援臨時交付金	32,538,000				
			13 分担金及び負担金		23P			
			・保育運営費保護者負担金 (現年度分)	103,313,750				
			・保育運営費保護者負担金 (過年度分)	795,400	29P			
			15 国庫支出金					
・子どものための教育・保育 給付費国庫負担金	363,348,878	33P						
16 県支出金								
・子どものための教育・保育 給付費県負担金	161,342,875	—						
・3歳未満児第3子以降保育料 無料化事業県補助金	3,504,000							
・群馬県施設型給付費等補助金	18,328,000							
○ 一般財源	249,883,405							

(款) 3 民生費

(項) 2 児童福祉費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
3 児童保育費	継続	地域子ども・ 子育て支援事業 19,995,412円 (21,425千円)	13 委託料		97P	すべての子育て家庭を対象に、地域のニーズに応じた様々な子育て支援を充実するもので、乳幼児健康支援一時預かり事業(病後児保育)、地域子育て支援拠点事業、一時預かり事業、延長保育事業などを実施する。 乳幼児健康支援一時預かり事業は、病後児保育事業の実施を竹内小児科に委託し、支払いを行った。 地域子育て支援拠点事業は、吉岡町子育て支援センターいちょうクラブの事業実施に対して委託料の支払いを行った。 一時預かり事業については、町内5保育所のほか、町内外の認定こども園の事業実施に対して支払いを行った。 延長保育事業については、町内の事業を実施している保育所に対して支払いを行った。 ※ 別掲の学童クラブ、ファミリー・サポート・センター、妊婦健康診査も地域子ども・子育て支援事業に含まれる。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉
			・乳幼児健康支援一時預かり事業委託料	2,440,000				
			・地域子育て支援拠点事業運営委託料	8,152,000				
			19 負担金、補助及び交付金					
			・一時預かり事業補助金	7,179,600				
			・延長保育費補助金	2,223,812				
			13 分担金及び負担金					
	・一時保育料保護者負担金	646,000						
	・延長保育料保護者負担金	1,077,300						
	・病後児保育料保護者負担金	73,000						
	15 国庫支出金		25P					
	・子ども・子育て支援交付金	4,775,000						
	16 県支出金		33P					
	・子ども・子育て支援交付金	4,775,000						
○ 一般財源	8,649,112	—						
継続	保育所助成事業 20,388,900円 (22,018千円)	19 負担金、補助及び交付金		97P	子ども・子育て支援新制度による国の財政措置を受けず、地方単独事業として障害児保育費補助金及び保育充実促進費補助金を支給し、児童福祉の充実を図るもの。 障害児保育費補助については、町内の2保育所に対して支払いを行った。 保育充実促進費補助については、町内の6保育所等が行った1歳児の保育士配置改善及び園児のアレルギー対策の実施に対して支払いを行った。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉	
		・障害児保育費補助金	4,305,400					
		・保育充実促進費補助金	16,083,500					
		16 県支出金		33P				
		・保育充実促進費補助金	8,061,550					
		21 諸収入		47P				
・保育充実促進費他市町村負担金	81,750							
○ 一般財源	12,245,600	—						

(款) 3 民生費

(項) 2 児童福祉費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
5 学童保育事業費	新規	駒寄第3 学童クラブ 用地取得事業 18,023,200円 (18,045千円)	11 需用費 ・消耗品費(事務用) 10,000		99P	賃貸借契約で利用していた駒寄第3学童クラブ駐車場について、恒久的な利用が見込まれるため、用地を購入した。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉
		13 委託料 ・測量登記委託料 13,200						
	17 公有財産購入費 ・用地買収費 18,000,000							
	○ 一般財源 18,023,200	—						
	継続	学童クラブ 管理業務 18,134,444円 (24,089千円)	11 需用費 ・電気料 3,767 ・学童クラブ施設修繕料 22,000		99P	町内6か所にある学童クラブの管理を、社会福祉法人吉岡町社会福祉協議会を指定管理者として行わせることにより、効率的な運営と住民福祉の向上を図った。 指定管理期間は、平成29年度から令和3年度までの5年間。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉
	13 委託料 ・学童クラブ指定管理料 17,935,367							
	14 使用料及び賃借料 ・学童クラブ駐車場借地料 173,310							
	15 国庫支出金 ・子ども・子育て支援交付金 5,354,000	25P						
	16 県支出金 ・子ども・子育て支援交付金 5,354,000	33P						
	○ 一般財源 7,426,444	—						

(款) 4 衛生費

(項) 1 保健衛生費

(単位: 円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
1 保健衛生総 務費	継続	住宅用太陽光 発電システム 設置補助金 4,045,000 円 (6,000 千円)	19 負担金、補助及び交付金 ・住宅用太陽光発電システム 4,045,000 設置整備事業補助金	103P	—	住宅用太陽光発電システムを設置した町民(42件)に対し補助金を交付し、環境負荷の少ないクリーンエネルギーの普及促進を図った。 交付金額は25,000円/kwとし、上限は100,000円(4kw)とする。	町民生活課 (生活環境室)	自然 環境
		○ 一般財源 4,045,000						
1 保健衛生総 務費	新規	健康づくり計画 策定業務 4,201,126 円 (4,322 千円)	8 報償費 ・健康づくり計画策定委員謝礼 74,800	101P	—	健康寿命の延伸、健康格差の縮小、生活習慣病の発症予防・重症化予防、こころの健康の維持・向上を基本方針とした吉岡町健康づくり計画を策定するもの。 現在の計画は、平成27年度から平成31年度を計画期間としており、令和2年度から令和6年度を機関とした第2期健康づくり計画を策定した。	健康福祉課 (健康づくり室)	健康 福祉
			12 役務費 ・健康づくり計画アンケート郵送 276,326					
			13 委託料 ・健康づくり計画策定委託料 3,850,000	103P				
			○ 一般財源 4,201,126					
3 母子衛生費	継続	子育て相談 支援事業 990,000 円 (1,432 千円) 総合戦略	8 報償費 ・健康相談謝礼 942,000	105P	—	子育て世代が安心して子どもを生み育てるための支援策として、乳幼児健診の事後相談を充実するとともに、母乳相談や子育て相談会のスタッフの充実(栄養士・言語聴覚士・作業療法士を追加)により、育児不安の解消、育児ストレスの軽減を図った。 また、第二子以降の保健師による訪問・電話相談を実施し、早期の支援を行った。 ・運動発達の相談 来所者 37件 ・ことばの相談 来所者 15件 ・心理相談 来所者 26件 ・母乳相談 来所者 261件 ・心理士の電話相談 104件 ・保健師の第2子訪問件数 61件 ・保健師の電話件数 50件	健康福祉課 (健康づくり室)	健康 福祉
			13 委託料 ・産後ケア事業委託料 48,000					
			15 国庫支出金 ・母子保健衛生費国庫補助金 234,000	27P				
			○ 一般財源 756,000					

(款) 4 衛生費

(項) 1 保健衛生費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
3 母子衛生費	継続	こどものこころ の発達健診 156,000円 (240千円) 総合戦略	8 報償費 ・こどものこころの発達健診謝礼 156,000	156,000	105P	自閉症やADHD(注意欠陥多動性障害)・ASP(アスペルガー症候群)等の広汎性発達障害を早期に発見し、子どもの生活のしづらさと保護者の負担や不安の軽減を図る総合戦略事業の一環として行うもの。1歳6ヵ月児健診で発達の遅れが疑われる児童に対し、心理士による詳しい検査・保護者へのアドバイスを行った。 ・対象者18人 ・来所者14人	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉
		○ 一般財源 156,000	—					
	継続	年中児こころの 成長アンケート 235,515円 (465千円) 総合戦略	8 報償費 ・年中児こころの成長アンケート謝礼 72,000 ・巡回相談謝礼 24,000 11 需用費 印刷製本費(年中児こころの成長アンケート) 19,800 12 役務費 ・郵便料(年中児こころの成長アンケート) 119,715	235,515	105P	自閉症やADHD(注意欠陥多動性障害)・ASP(アスペルガー症候群)等の広汎性発達障害を早期に発見し、子どもの生活のしづらさと保護者の負担や不安の軽減を図る総合戦略事業の一環として行うもの。 年中児の年齢(4歳~5歳)に達した児童の保護者にアンケートを行うことでハイリスク児を把握し、発達支援教室や相談会でフォローしていくとともに、二次障害(不登校、ひきこもり、精神疾患)の予防につなげていく。 また、保育園での生活の中で、困難を抱えている児童の発見・支援を目的に、心理士による巡回相談を行った。 ・アンケート送付者263人、回答者183人 ・園訪問2園、対象児3人	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉
	○ 一般財源 235,515	—						

(款) 4 衛生費

(項) 1 保健衛生費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳						
3 母子衛生費	継続	発達支援教室 837,918 円 (1,047 千円) 総合戦略	8 報償費 ・発達支援教室謝礼 688,400	11 需用費 ・消耗品費(発達支援教室) 41,518	105P	自閉症やADHD(注意欠陥多動性障害)・ASP(アスペルガー症候群)等の広汎性発達障害を早期に発見し、子どもの生活のしづらさと保護者の負担や不安の軽減を図る総合戦略事業の一環として行うもの。 年中児こころの成長アンケートにより発達障害の疑いがあり、発達支援教室への参加が必要となった児童及びその保護者に対し、発達を促す遊びを行うほか、医師・心理士・作業療法士・保育士・保健師がアドバイスをを行った。 ・教室該当者 29 人、参加者 8 人	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉	
	3 母子衛生費	拡充	妊婦健康診査 支援事業 21,130,047 円 (23,153 千円)	11 需用費 ・印刷製本費(事務用) 96,250	13 委託料 ・妊婦健康診査委託料 20,443,820 ・妊産婦歯科検診委託料 312,077	105P	全妊婦を対象に医療機関や助産所にて妊婦健康診査を実施することにより、母体や胎児の疾病の早期発見と健康管理を行うもの。 平成 30 年度に開始した新生児聴覚検査に加え、令和元年度からは妊娠届出時に受診票を交付し、産前と産後に歯科検診を受診できる妊産婦歯科検診を開始した。 ・交付数 4,091 枚、使用数 3,064 枚	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉
				19 負担金、補助及び交付金 ・妊婦健康診査補助金 277,900	○ 一般財源 21,130,047	—			
	継続	不妊・不育対策 支援事業 4,473,000 円 (6,180 千円) 総合戦略	20 扶助費 ・特定不妊治療費 2,821,000 ・一般不妊治療費 1,584,000 ・男性不妊治療費 0 ・不育症治療費 68,000	○ 一般財源 4,473,000	105P — 107P —	総合戦略事業として、また、一億総活躍政策が掲げる「希望出生率 1.8」の実現に向けた取組みとして、不妊・不育に悩む夫婦の支援を行うもの。 平成 28 年度より、従来の特定不妊治療に加え、一般不妊治療、男性不妊治療、不育症治療についても助成を行った。 ・特定不妊治療助成件数(延件数 36 件) ・一般不妊治療助成件数(延件数 43 件) ・男性不妊治療助成件数(延件数 0 件) ・不育症治療助成件数(延件数 3 件)	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉	

(款) 4 衛生費

(項) 1 保健衛生費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
4 健康増進費	拡充	検診事業 39,877,662 円 (40,779 千円)	7 賃金		107P	町民を対象に、がん検診（胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん・前立腺がん）のほか、肝炎ウイルス検診、歯周疾患検診等を実施し、疾病の早期発見・早期治療につなげた。 令和元年度からは、歯周疾患検診の対象者を拡大し、より多くの町民が検診を受診できる体制をとった。 検診受診者数 胃がん検診（バリウム） 849 人 胃がん検診（胃内視鏡） 301 人 大腸がん検診 1,686 人 胸部レントゲン検診 1,927 人 子宮がん検診 1,260 人 乳がん検診 1,187 人 前立腺がん検診 638 人 肝炎検診 203 人 歯周疾患検診 170 人	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉
			・臨時賃金	129,600				
			8 報償費					
			・健康診査謝礼	71,610				
			11 需用費					
			・消耗品費	11,781				
			・印刷製本費（事務用）	727,660				
			12 役務費					
			・検診関係通知郵便料	1,956,921				
			13 委託料					
			・健康診査等委託料	34,181,467				
			・事務委託料	2,795,623				
			23 償還金、利子及び割引料					
・がん検診推進事業費補助金 返還金（過年度分）	3,000							
15 国庫支出金		27P						
・がん検診推進事業費補助金	4,000							
16 県支出金		33P						
・健康増進事業費県補助金	936,282							
○ 一般財源	38,937,380	—						

(款) 4 衛生費

(項) 1 保健衛生費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
4 健康増進費	拡充	健康No.1 プロジェクト 事業 3,352,887円 (4,207千円)	8 報償費		107P	第5次総合計画及び健康づくり計画の健康No.1プロジェクトとして展開している事業。 自治会の傘下である「よしおか健康推進協議会」を中心に、有酸素運動・食育活動などを基本として実施している。 代表推進員は、定期的に会議に出席し、町と連携して活動の推進を行っている。 令和元年度は、参加者の多い合同体力測定会や運動教室、料理講座、健康まつりの内容をさらに充実させるとともに、新規事業として「健康ポイント事業」をスタートさせ、健康づくりに関する様々な事業の参加者に景品と交換できるポイントを付与し、健康推進活動の普及啓発と参加者の拡大が図れた。 ・よしおか健康推進協議会活動 延 1,195人 ・自治会での自主活動 延 19,213人 ・健康ポイント交換者 242人	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉
			・その他謝礼	990,600				
			11 需用費					
			・消耗品費	608,026				
			・食糧費	72,074				
			・印刷製本費(事務用)	114,555				
			12 役務費					
			・体力測定会手数料	81,600				
			・傷害保険料	15,200				
			13 委託料					
・健康まつりイベントブース委託料	27,500							
14 使用料及び賃借料								
・健康No.1プロジェクト用借上料	219,756							
19 負担金、補助及び交付金								
・各種負担金	10,000							
・よしおか健康No.1プロジェクト事業補助金	1,213,576							
○ 一般財源	3,352,887	—						
5 環境衛生費	継続	浄化槽設置整備 事業 4,510,000円 (4,510千円)	19 負担金、補助及び交付金		107P	公共下水道エリアと農業集落排水エリア以外の区域を対象に、単独処理浄化槽又は汲取槽から合併処理浄化槽への転換を推進し対象者にエコ補助金を加えて補助したほか、開発事業により分譲された住宅を除く一般住宅を対象に、合併処理浄化槽設置費の一部を補助した。 ・補助金交付実績:23基(内エコ補助金1基)	上下水道課 (下水道室)	自然環境
			・浄化槽設置整備事業費補助金	4,410,000				
			・浄化槽エコ補助金	100,000				
			15 国庫支出金					
			・浄化槽設置整備事業費交付金	1,233,000				
16 県支出金								
・浄化槽設置整備事業費交付金	175,000							
○ 一般財源	3,102,000	—						

(款) 4 衛生費

(項) 2 清掃費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
2 塵芥処理費	継続	資源ごみ回収 事業補助金 3,717,050円 (5,000千円)	19 負担金、補助及び交付金		109P	ごみの減量、資源の再利用及び地域コミュニティの育成を促進し、併せて廃棄物処理行政に対する町民意識の高揚を図ることを目的とし、資源ごみを回収した自治会等の営利を目的としない団体(45団体、118件)に対して補助金を交付した。	町民生活課 (生活環境室)	自然 環境
			・資源ごみ回収事業補助金	3,717,050				
			○ 一般財源	3,717,050				

(款) 5 労働費

(項) 1 労働諸費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
1 労働諸費	継続	勤労者住宅資金 利子補給事業 6,412,114円 (18,864千円)	19 負担金、補助及び交付金		111P	金融機関から資金を借り入れ、町内に専用住宅を新築し、又は新築住宅を購入した給与所得者へ、借入額のうち1,000万円以内に対し、年利1.0%を上限(上限額100,000円)として1年間分の利子補給を行った。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用
			・勤労者住宅資金利子補給	6,412,114				
			○ 一般財源	6,412,114				
	継続	勤労者生活資金 融資事業 5,000,000円 (5,000千円)	21 貸付金		111P	町内在住の勤労者に対し、該当する目的に必要な資金を100万円以内、期間5年以内で融資するもの。 このため、金融機関に資金を預託した。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用
			・勤労者生活資金融資預託金	5,000,000				
			21 諸収入					
			・勤労者生活資金融資預託金	5,000,000				

(款) 6 農林水産業費

(項) 1 農業費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
3 農業振興費	継続	地域特産品 生産体制構築 事業 6,842,000円 (11,000千円) <u>総合戦略</u>	13 委託料 ・地域特産品生産体制構築事業委託料 6,842,000	113P	本年度も協議会を中心に県の協力を得ながら、原料いもの収量や生産量の拡大に向けた調査及び検証を行った。栽培においては、農林5号はマルチなしの場合が一番収量が多く、加工に適している200グラム以上の割合も良い結果が得られた。この2年間の調査で収量に関してはマルチは必ずしも必要ではない結論に至った。また、昨年度導入した貯蔵庫を使用して、温度と湿度を一定にすることで簡易的なキュアリング処理ができるか検証を行った結果、薄いコルク層の形成が見られたため、成功したものと思われる。加工に関して、貯蔵庫で保管しているいものは、糖化が進んでいないことがわかり、加工前に一定期間低温にさらした方が良いことが判明した。販路拡大に向けた取組の一つとしてブランド化が考えられるが、今年度知的財産権の活用に向けて、地域団体商標制度について調査を行った。また、今後の販路拡大として小倉乾燥芋のホームページおよびECサイト(独自の通販サイト)を構築した。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用	
	15 国庫支出金 ・地方創生推進交付金 3,421,000 ○ 一般財源 3,421,000		25P —					
	継続	道の駅 「よしおか温泉」 情報発信機能 強化事業 200,000円 (600千円) <u>総合戦略</u>	19 負担金、補助及び交付金 ・道の駅まつり交付金 200,000 ○ 一般財源 200,000	115P —	町の東の玄関口として位置付けられている道の駅「よしおか温泉」を、広域観光案内及び地域情報の提供施設として更なる整備を推進するとともに、各種イベントを通して地域交流及び地域特産品のPR強化を図る事業。今年度は、道の駅で行われた「ほたる祭り」のイベントに対し助成を行い、各種団体による自主的・自立的な交流及び地域PR活動が行われた。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用	

(款) 6 農林水産業費

(項) 1 農業費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
4 畜産振興費	継続	畜産振興 (悪臭対策) 事業 216,000円 (824千円)	13 委託料 216,000		115P —	臭気発生予防の観点から、畜舎の臭気測定を実施し、家畜飼養者の注意喚起を促す。 また、畜産振興を図るため、農業者が実施する悪臭対策事業の経費の一部を補助する。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用
			・臭気測定業務委託					
5 農地費	継続	小規模農村 整備事業 8,474,000円 (8,474千円)	19 負担金、補助及び交付金 8,474,000		117P —	南天下八幡地区及び大久保溝祭地区において、延長598mの農業用水路の布設替工事を群馬用水土地改良区が事業主体で実施した。	産業建設課 (用地管理室)	産業 雇用
			・小規模農村整備事業負担金					
	継続	群馬用水施設 緊急改築事業 12,898,552円 (12,899千円)	19 負担金、補助及び交付金 12,898,552		117P —	群馬用水施設緊急改築事業の償還(10年目/17年)を実施した。	産業建設課 (用地管理室)	産業 雇用
			・群馬用水施設緊急改築事業 償還負担金					

(款) 6 農林水産業費

(項) 1 農業費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳						
6 地籍調査費	継続	地籍調査費 20,861,763 円 (21,171 千円)	8 報償費		117P	南下Ⅴ地区(字大林の一部、鬼ヶ橋)は、一筆ごとの土地について、その所有者、地番、地目、境界の確認及び地積(面積)に関する測量を実施した。 南下Ⅳ地区(字下八幡、宮代及び大林の一部)は、地籍図案及び地籍簿案を作成し、地権者への閲覧を実施した。 南下Ⅰ地区は、県・国の認証承認及び法務局への登記申請を経て登記が完了し、その測量成果についての数値情報化を行った。 南下Ⅱ地区及び南下Ⅲ地区は、県・国の認証承認を得るための地図訂正等を行った。	産業建設課 (用地管理室)	産業 雇用	
			・地籍調査推進委員	89,900					
			9 旅費						
			・普通旅費	44,960					
			11 需用費						
			・消耗品費(事務用)	357,192					
			・消耗品費(現場用)	38,087					
			・食糧費	4,800					
			・材料費(現場用)	57,288					
			12 役務費						
			・郵送料	56,036					
			・傷害保険料	3,000					
			13 委託料						
			・地籍調査業務委託料	8,030,000					
			・復元測量等業務委託料	7,749,500					
			・数値情報化業務委託料	462,000					
			・システム保守業務委託料	523,200					
			・登記事項調査委託料	22,000					
			14 使用料及び賃借料						
			・駐車場使用料	5,400					
18 備品購入費									
・地籍調査事務支援システム 購入費	3,380,400								
19 負担金、補助及び交付金									
・国土調査推進協議会会費	38,000	119P							
14 使用料及び手数料									
・地籍図等交付手数料	1,800	23P							
16 県支出金									
・国土調査(地籍調査)事業 負担金	4,665,000	31P							
○ 一般財源	16,194,963	—							

(款) 6 農林水産業費

(項) 1 農業費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
8 農業集落排水事業費	継続	農業集落排水事業 特別会計繰出金 141,290,323円 (142,727千円)	28 繰出金 ・農業集落排水事業特別会計 繰出金 141,290,323	119P	—	吉岡町農業集落排水事業は、整備が完了しており、各処理施設の維持管理が主体となっている。令和元年度は、不明水の防止対策と老朽管の維持補修のほか、各処理施設の老朽化による設備の修繕・交換及び維持管理を実施した。また、令和2年度からの法適化移行に向けて、公営企業会計システムの導入、前年度分の固定資産の追加調査・評価等の台帳データ整備、例規整備等を行ったほか、移行に伴う関係各課との調整、打ち切り決算等の財務関係の移行準備、職員研修等を実施した。	上下水道課 (下水道室)	自然環境
		○ 一般財源 141,290,323						

(款) 6 農林水産業費

(項) 2 林業費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
2 林業振興費	継続	林道 栗籠井堤線 新設事業 36,559,077円 (37,350千円)	13 委託料 ・県単林道改良工事等設計委託料 770,000 ・県単林道改良工事用地測量委託料 6,699,000 ・所有権登記委託料 61,917 15 工事請負費 ・県単林道改良工事 24,409,000 17 公有財産購入費 ・県単林道改良工事用地買収費 4,619,160	121P	35P	平成29年度から継続して、用地買収及び林道の開設工事を実施した。	産業建設課 (産業振興室)	産業雇用
		16 県支出金 ・県単林道改良事業 12,500,000						
		22 町債 ・地方道路等整備事業債 (林道新設事業) 21,500,000	49P					
		○ 一般財源 2,559,077	—					

(款) 7 商工費

(項) 1 商工費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳						
1 商工総務費	継続	住宅リフォーム 促進事業 2,456,000円 (3,000千円)	19 負担金、補助及び交付金		123P	地域経済活性化対策の一環として、住宅関連産業を中心とした地域経済の活性化を目的とするもの。 町民が居住する住宅について、町内の施工業者を利用して住宅リフォーム工事を行った申請者に対し、費用の一部を助成した。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用	
			・住宅リフォーム促進事業補助金	2,456,000					
			○ 一般財源	2,456,000	—				
	継続	ぐんま新技術・ 新製品開発 推進事業 0円 (400千円) 総合戦略	19 負担金、補助及び交付金		—	町内の中小企業者の開発意欲を助長し、その競争力強化と発展を図ることを目的とし、町内に事業所をもつ中小企業者が行う新製品・新商品の開発に係る研究開発費の一部を、県と町が連携して助成する事業。 募集を行ったが、応募が無かった。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用	
			・ぐんま新技術・新製品開発 推進補助金	0					
			○ 一般財源	0	—				
2 観光費	継続	よしおか再発見 ウォーク 6,180円 (65千円)	8 報償費		123P	第5次総合計画のシンボルプロジェクトである「よしおか再発見プロジェクト」の一環として、吉岡町の魅力を掘り起こす事業。各種団体が名所・史跡、物産の魅力を紹介や提供をし、参加者がその魅力を外部へ発信することが目的。 第10回は明治地区に点在する絹遺産を繋ぎ合わせ、今までに扱っていない陣場地区をコースに加えて実施した。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用	
			・記念品	4,200					
			12 役務費		47P				
			・保険料	1,980					
21 諸収入		—							
			・よしおか再発見ウォーク参加者 負担金	2,600					
			○ 一般財源	3,580	—				

(款) 7 商工費

(項) 1 商工費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳						
2 観光費	継続	観光PR事業 2,977,367円 (3,448千円)	8 報償費			123P	第5次総合計画のシンボルプロジェクトである「よしおか再発見プロジェクト」の一環として「伊香保などと連携したキラリと光る観光のまち」を目標に実施。 ・渋川北群馬DMO協議会の事業として日本温泉協会主催の旅と温泉展合同キャラバンにて渋川市、榛東村と連携して観光PR展示用の情報提供 ・町の観光PRのための首都圏におけるPRイベントに渋川市、榛東村と合同参加 ・船尾滝立入禁止解除に合わせた宣伝媒体の作製 ・観光ガイドブックの更新 ・ぐんまDCに向けた町内観光素材の魅力発信 ・全国町村会主催イベントに参加 ・花壇の設置などといった飾花によるPR事業の実施	産業建設課 (産業振興室)	産業雇用
			・記念品	11,160					
			9 旅費						
			・普通旅費	234,100					
			11 需用費						
			・消耗品費	477,097					
			・食糧費	22,770					
			・観光用ポスター	398,420					
			・観光パンフレット	524,667					
			12 役務費						
			・広告掲載料	70,200					
			・クリーニング代	14,938					
			13 委託料						
			・飾花造園委託料	1,075,660					
19 負担金、補助及び交付金									
・吉岡町PR事業交付金	148,355								
16 県支出金			35P	・伊香保街道や町内観光施設イメージアップのための花壇設置					
・地域振興調整費補助金	380,000								
21 諸収入			47P						
・グリーンフラワー事業補助金	190,000								
・「町イチ!村イチ!」事業参加助成金	199,555								
○ 一般財源		2,207,812		—					

(款) 8 土木費

(項) 2 道路橋梁費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
1 道路橋梁総務費	継続	滝沢大橋補修事業 13,761,152 円 (13,762 千円)	19 負担金、補助及び交付金 ・滝沢大橋補修事業負担金(榛東村施工) 13,761,152	125P	—	榛東村が事業主体となり、吉岡町と榛東村の境界に位置する滝沢大橋の補修工事を実施し、榛東村との協定書に基づく事業費の1/2を町負担金として支出した。	産業建設課 (用地管理室)	安全 便利
			○ 一般財源 13,761,152					
2 道路維持費	継続	道路長寿命化事業 23,448,600 円 (29,190 千円)	15 工事請負費 ・道路長寿命化補修工事(単独) 23,448,600	127P	—	道路長寿命化計画(舗装等の個別施設計画)、道路長寿命化計画(小型構造物の個別施設計画)に基づき、町内4路線の舗装補修工事と3路線の道路側溝等の更新事業を実施した。	産業建設課 (都市建設室)	安全 便利
			22 町債 ・公共施設等適正管理推進事業債(道路長寿命化事業) 21,100,000	49P				
			○ 一般財源 2,348,600					
3 道路新設改良費	継続	町道熊野・吉開戸線改良事業 7,824,000 円 (20,800 千円)	13 委託料 ・測量設計業務(繰越明許) 6,224,000	127P	—	駒寄スマートICの東側に位置し、町の商業用途地域が設定され、大型商業施設の出店が予定されている地域に接続する町道熊野・吉開戸線について、測量設計委託を行い(繰越明許)、用地測量・調査業務委託を行った(令和2年度へ繰越)。	産業建設課 (都市建設室)	安全 便利
			・用地測量・調査業務 1,600,000	129P				
			15 国庫支出金 ・社会資本整備総合交付金(道路改良事業) 800,000	27P				
			22 町債 ・公共事業等債(道路改良事業) 700,000	49P				
	○ 一般財源 6,324,000							
	継続	渋川吉岡連携道路事業 3,440,750 円 (13,583 千円)	19 負担金、補助及び交付金 ・渋川吉岡連携道路事業負担金 3,440,750	129P	—	渋川市及び吉岡町連携道路(庚申塚5号線と渋川市道)の用地測量業務委託等を行い、事業を推進した。	産業建設課 (都市建設室)	安全 便利
			○ 一般財源 3,440,750					

(款) 8 土木費

(項) 2 道路橋梁費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
5 橋梁維持費	継続	橋梁の長寿命化 46,228,520 円 (57,100 千円)	13 委託料		129P	町が管理する橋梁の長寿命化を図るため、定期点検、補修設計及び補修工事を実施した。平成 30 年度繰越事業は、補修工事 (5 橋) が完成した。また、令和元年度は、補修工事 (2 橋) を発注して翌年度に繰り越した。	産業建設課 (用地管理室) (都市建設室)	安全 便利
			・橋梁長寿命化修繕詳細設計業務 (補助)	7,680,000				
			・橋梁補修設計積算・施工管理業務 (繰越明許)	2,715,120				
			・橋梁長寿命化計画更新業務 (補助)	1,359,000				
			15 工事請負費		27P			
			・橋梁維持補修工事 (補助) (繰越明許)	30,303,400				
			・橋梁維持補修工事 (補助)	4,171,000				
15 国庫支出金		49P						
・社会資本整備総合交付金 (橋梁長寿命化修繕事業)	7,250,000							
・社会資本整備総合交付金 (橋梁長寿命化修繕事業) (繰越明許)	15,853,500							
22 町債		—						
・公共事業等債 (橋梁長寿命化事業)	5,300,000							
○ 一般財源		17,825,020						

(款) 8 土木費

(項) 4 都市計画費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳						
1 都市計画総 務費	新規	都市計画事業 8,141,800 円 (12,210 千円)	13 委託料		131P	駒寄スマート IC 東側周辺と既に商業施設が集積している県道前橋伊香保線吉岡バイパス沿線に用途地域の新規指定及び変更を行い、町全域に特定用途制限地域を指定した。	産業建設課 (都市建設室)	安全 便利	
			・都市計画図修正業務	1,999,800					
			・都市計画情報システムデータ 更新業務	990,000					
			・都市計画決定図書作成業務	2,652,000					
			・都市計画決定図書作成業務 (繰越明許)	2,500,000					
			○ 一般財源	8,141,800	—				
2 都市施設費	継続	城山みはらし 公園整備事業 61,432,295 円 (84,320 千円)	11 需用費		131P	城山みはらし公園の公園整備(繰越明許)を実施し、本年度公園整備が完了した。 また、4月にオープンイベントを実施した。	産業建設課 (用地管理室) (都市建設室)	安全 便利	
			・消耗品費(城山みはらし公園)	151,157					
			・電気料(城山みはらし公園)	65,499					
			・上下水道料(城山みはらし公園)	230,214					
			・修繕料(城山みはらし公園)	351,205					
			13 委託料		133P				
			・オープンイベント委託料(城山みはらし公園)	297,216					
			・除草業務委託料(城山みはらし公園)	804,478					
			・清掃委託料(城山みはらし公園)	1,366,189					
			・設計積算・施工管理業務(城山みはらし公園) (繰越明許)	3,101,760					
15 工事請負費									
・法面除草工事(城山みはらし公園)	4,482,800								
・整備工事(城山みはらし公園) (繰越明許)	50,581,777								
15 国庫支出金									
・城山みはらし公園事業補助金 (繰越明許)	59,666,000	27P							
○ 一般財源	1,766,295	—							

(款) 8 土木費

(項) 4 都市計画費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳						
2 都市施設費	継続	駒寄スマート I C 大型車対応化事業 135,202,802 円 (343,063 千円)	9 旅費			131P	前橋市、吉岡町及びネクスコ東日本が連携し、 駒寄スマート I C の大型車対応化事業を進めた。	産業建設課 (用地管理室) (都市建設室)	安全 便利
			・普通旅費(スマート I C)	10,360					
			11 需用費			133P			
			・消耗品費(スマート I C)	12,348					
			13 委託料			135P			
			・駒寄スマート I C 大型車対応化 事業	82,656,883					
			・駒寄スマート I C 大型車対応化 事業(繰越明許)	14,566,302					
			15 工事請負費			133P			
			・建設工事(スマート I C) (繰越明許)	14,169,600					
			19 負担金、補助及び交付金			135P			
			・駒寄スマート I C 大型車対応化 事業負担金	9,998,219					
			・駒寄スマート I C 大型車対応化 事業負担金 (繰越明許)	7,969,044					
			22 補償、補填及び賠償金			133P			
			・補償費(スマート I C)	5,505,266					
・補償費(スマート I C) (繰越明許)	314,780								
15 国庫支出金			27P						
・地域連携道路事業費補助金 (駒寄スマート I C)	45,461,285								
・地域道路連携事業費補助金 (駒寄スマート I C)(繰越明許)	15,128,529								
21 諸収入			47P						
・駒寄スマート I C 大型化事業 に係る前橋市負担金	30,325,587								
・駒寄スマート I C 大型化事業 に係る前橋市負担金(繰越明許)	10,441,615								
22 町債			49P						
・公共事業等債(駒寄スマート I C 大型車化対応化事業)	17,200,000								
・地方道路等整備事業債(駒寄スマー ト I C 大型車化対応化事業)	2,700,000								
○ 一般財源			—						

(款) 8 土木費

(項) 4 都市計画費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
3 下水道費	継続	公共下水道事業 特別会計繰出金 157,097,915 円 (161,701 千円)	28 繰出金 ・公共下水道事業特別会計繰出金 157,097,915 ○ 一般財源 157,097,915	135P —	令和元年度は、公共下水道区域拡大箇所の内、大久保道城辺玉地区の一部と不動久保地区の管渠整備工事を実施し、不動久保地区については令和2年4月1日より供用開始した。既供用開始区域内では、不明水対策の調査及び管渠補修工事、マンホールポンプの更新工事等を実施した。また、令和2年度からの法適化移行に向けて、公営企業会計システムの導入、前年度分の固定資産の追加調査・評価等の台帳データ整備、例規整備等を行ったほか、移行に伴う関係各課との調整、打ち切り決算等の財務関係の移行準備、職員研修等を実施した。	上下水道課 (下水道室)	自然 環境	

(款) 8 土木費

(項) 5 住宅費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
1 住宅管理費	新規	町営住宅 長寿命化計画 策定業務 2,898,500 円 (3,795 千円)	13 委託料 ・長寿命化計画策定業務委託料 2,898,500 ○ 一般財源 2,898,500	135P —	町営住宅の適切な維持管理を行うために、町営住宅の状況や将来的な需要見通しを踏まえた各団地・住棟のあり方を考慮した上で、効率的・効果的な団地別・住棟別の維持管理の方針を定め、長寿命化に資する予防保全的な管理や改善を計画的に推進し、ライフサイクルコストの縮減等を目指すため、本計画を策定した。	財務課 (財政室)	町民 行政	

(款) 9 消防費

(項) 1 消防費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
1 非常勤消防費	継続	消防団運営費 12,005,500円 (13,965千円)	1 報酬 ・非常勤職員報酬 6,765,500	135P	137P	町民の生命、財産を守るために日々活動する消防団員に対し、報酬、各種出動委託料及び運営補助金を支払った。 ○消防団員総員:102名(平成31年4月1日現在) ○報酬(年額):団長295,000円、副団長221,000円、分団長・ラッパ長147,000円、副分団長94,000円、副ラッパ長83,000円、部長82,000円、班長62,000円、機関員47,000円、団員39,000円、ラッパ手41,000円	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利
	13 委託料 ・消防団各事業委託料 4,640,000		19 負担金、補助及び交付金 ・消防団運営補助金 600,000					
			○ 一般財源 12,005,500					
	継続	消防団員 自動車運転免許 取得費補助金 573,465円 (1,940千円)	19 負担金、補助及び交付金 ・消防団員自動車運転免許取得費補助金 573,465	137P	—	所属している分団の消防自動車を運転できない団員を対象に、中型免許等の取得費を補助し、消防機能の充実を図った。 準中型免許:4名 中型免許:1名	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利
			○ 一般財源 573,465					
4 災害対策費	継続	自主防災組織 支援事業 60,000円 (650千円) 総合戦略	19 負担金、補助及び交付金 ・自主防災組織活動補助金 60,000	137P	—	総合戦略事業として、自主防災組織を支援することで地域防災力の向上を図り、地域と一体となったまちづくりを推進した。 ・自主防災組織の資機材購入費の一部を助成した。(南下、溝祭自治会)	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利
			○ 一般財源 60,000					

(款) 9 消防費

(項) 1 消防費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
5 無線放送施設設置事業費	継続	防災無線デジタル化事業 150,882,000円 (151,672千円) 【債務負担行為】 R2:182,223 総合戦略	13 委託料		139P	現在の防災行政無線施設は平成11年に整備されたが、近年求められている多様化・高度化する通信ニーズへの対応と、無線機器のスペリアス規格の改正に対応するため、防災行政無線施設のデジタル化を実施した。	町民生活課 (生活環境室)	安全 利便
	・防災無線デジタル化設置工事監理委託料(繰越明許)		2,818,800					
15 工事請負費								
・防災無線デジタル化設置工事(繰越明許)	109,879,200							
・防災無線デジタル化設置工事	38,184,000							
15 国庫支出金								
・民生安定施設設置助成補助金(防災無線デジタル化事業)(繰越明許)	81,011,000	27P						
・民生安定施設設置助成補助金(防災無線デジタル化事業)	27,510,000							
22 町債								
・緊急防災・減災事業債(防災無線デジタル化事業)(繰越明許)	31,600,000	51P						
・緊急防災・減災事業債(防災無線デジタル化事業)	10,600,000							
○ 一般財源	161,000	—						
	新規	全国瞬時警報システム(J-ALERT)自動起動機更新事業 2,915,000円 (3,267千円)	15 工事請負費		139P	平成23年に整備されたJ-ALERTが、令和2年3月末でメーカーの保守サポート終了となることから、迅速な情報伝達を確実にを行うため機器の更新を行った。	町民生活課 (生活環境室)	安全 利便
・全国瞬時警報システム(J-ALERT)自動起動機更新工事	2,915,000							
22 町債								
・防災対策事業債(J-ALERT自動起動機更新事業)	2,100,000		51P					
○ 一般財源	815,000	—						

(款) 10 教育費

(項) 1 教育総務費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
2 事務局費	継続	学校給食食材費 の助成 5,000,000 円 (5,000 千円)	28 繰出金 ・学校給食事業特別会計繰出金 5,000,000 (食材費助成分)	5,000,000	143P	一般会計から学校給食事業特別会計への繰出しを行い、給食食材費を助成することで、学校給食の充実を図った。	教育委員会 事務局 (学校教育室)	教育文化
			○ 一般財源	5,000,000	—			

(款) 10 教育費

(項) 2 小学校費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
2 教育振興費	継続	学校給食事業 特別会計繰出金 13,384,550 円 (14,725 千円) 総合戦略	28 繰出金 ・明小学校給食事業特別会計繰出金 6,020,150 ・駒小学校給食事業特別会計繰出金 7,364,400	13,384,550	151P	一般会計から学校給食事業特別会計への繰出しを行い、児童1人当たり9,500円(950円×10ヵ月)を補助した。 ・対前年度:-1,194千円(-8.2%)	教育委員会 事務局 (学校教育室)	教育文化
			○ 一般財源	13,384,550	—			
3 学校建設費	新規	明治小学校 給水管更新事業 1,925,000 円 (2,079 千円)	13 委託料 ・明小給水管更新工事設計業務委託 1,925,000	1,925,000	151P	明治小学校の給水管が、老朽化に伴い管内に錆が見られるため、更新するもの。 令和元年度は、実施設計を行った。	教育委員会 事務局 (学校教育室)	教育文化
			22 町債 ・学校教育施設等整備事業債 (明小給水管更新事業)	1,400,000	51P			
			○ 一般財源	525,000	—			

(款) 10 教育費

(項) 2 小学校費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳						
3 学校建設費	継続	駒寄小学校 体育館改築事業 101,991,705 円 (547,603 千円)	13 委託料			151P	旧体育館は、児童の増加により狭小化しており 全校集会や記念式典等に支障をきたしていたこと から、現在の児童数に応じた学校体育館を新築 することとなった。 基礎地盤が想定と違っていたことが分かり杭 の設計変更等に時間を要したため、工事を令和2 年6月10日まで変更するとともに、新体育館用 の備品も完成に合わせ整備する必要があること から繰り越しを行った。	教育委員会 事務局 (学校教育室)	教育 文化
			・駒小体育館ボーリング調査業務委 託	1,480,600					
			14 使用料及び賃借料						
			・駒小体育器具倉庫借上料	450,860					
			・駒小工事通路用地借上料	60,245					
			15 工事請負費			153P			
			・駒小体育館新築工事	100,000,000					
			18 備品購入費			—			
・駒小体育館用備品	0								
15 国庫支出金			—						
・公立学校施設整備費国庫負担金 (駒小体育館改築事業)	0								
22 町債			51P						
・学校教育施設等整備事業債 (駒小体育館改築事業)	76,100,000								
○ 一般財源		25,891,705	—						

(款) 10 教育費

(項) 3 中学校費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
2 教育振興費	継続	学校給食事業 特別会計繰出金 6,158,850 円 (6,783 千円) 総合戦略	28 繰出金 ・学校給食事業特別会計繰出金 6,158,850 (給食費補助分)	157P	一般会計から学校給食事業特別会計への繰出しを行い、生徒1人当たり9,500円(950円×10カ月)を補助した。 ・対前年度：-726千円(-10.5%)	教育委員会 事務局 (学校教育室)	教育文化	
			○ 一般財源 6,158,850	—				
3 学校建設費	新規	吉岡中学校 特別教室 改修事業 2,090,000 円 (2,090 千円)	13 委託料 ・特別教室改修工事設計業務委託 2,090,000	157P	学級数の増加に伴い、特別教室を利用できる機会が制限されているため、普通教室として利用している集会室を特別教室として改修し、生徒の増加に対応するもの。 令和元年度は、実施設計を行った。	教育委員会 事務局 (学校教育室)	教育文化	
			22 町債 ・学校教育施設等整備事業債 (吉中特別教室改修事業) 1,500,000	51P				
			○ 一般財源 590,000	—				
	継続	吉岡中学校 校舎増築事業 198,306,482 円 (202,631 千円)	13 委託料 ・校舎増築工事監理業務委託 4,279,000	157P	生徒の増加等により、令和2年度以降に教室不足が見込まれているため、教室不足解消に向け、校舎の増築を行うもの。 令和元年度は工事を行い、新たに4教室が増え教室不足が解消された。	教育委員会 事務局 (学校教育室)	教育文化	
			15 工事請負費 ・校舎増築工事 194,027,482	25P				
			15 国庫支出金 ・公立学校施設整備費国庫負担金 51,164,000 (吉中校舎増築事業) ・防衛施設周辺対策事業費補助金 22,621,000 (吉中校舎増築事業)	29P				
		22 町債 ・学校教育施設等整備事業債 (吉中校舎増築事業) 98,100,000	51P					
		○ 一般財源 26,421,482	—					

(款) 10 教育費

(項) 4 社会教育費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
1 社会教育総務費	継続	吉岡町・大樹町 子ども交流事業 3,526,410円 (3,530千円) 総合戦略	9 旅費			友好都市である北海道大樹町において自然体験・社会体験・宿泊体験を行うことにより、大樹町の子どもたちとの交流のほか、地域社会でリーダーシップを発揮できる青少年を育成することができた。 参加者30名。	教育委員会 事務局 (生涯学習室)	教育文化
			・普通旅費(吉岡町・大樹町子ども交流事業)	642,600	157P			
			11 需用費					
			・消耗品費(吉岡町・大樹町子ども交流事業)	22,585				
			・食糧費(吉岡町・大樹町子ども交流事業)	60,150				
			・印刷製本費(吉岡町・大樹町子ども交流事業)	128,920				
			12 役務費					
・保険料(吉岡町・大樹町子ども交流事業)	28,800	159P						
13 委託料								
・業務委託料(吉岡町・大樹町子ども交流事業)	2,630,480							
14 使用料及び賃借料								
・携帯電話使用料(吉岡町・大樹町子ども交流事業)	12,875							
21 諸収入								
・吉岡町・大樹町子ども交流事業負担金	900,000	45P						
○ 一般財源	2,626,410	—						
4 文化センター費	新規	文化センター 長寿命化計画 策定業務 4,151,400円 (5,448千円)	13 委託料			吉岡町公共施設等総合管理計画に基づき、文化センター施設の中長期的な維持管理・更新にかかるトータルコストの縮減や予算の平準化を図るため、個別施設計画を作成した。計画策定において現状の劣化度を認識し、維持管理事業の平準化を考慮した計画策定を行った。	教育委員会 事務局 (生涯学習室)	教育文化
・文化センター長寿命化計画策定業務委託料	4,151,400	163P						
○ 一般財源	4,151,400	—						

(款) 10 教育費

(項) 4 社会教育費

(単位：円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳						
5 文化財保護・調査費	継続	文化財を資源 とした交流 エリア形成 プロジェクト 12,705,232 円 (15,458 千円) 総合戦略	7 賃金			165P	平成 30 年度にオープンした文化財センターを拠点として、本町の特色である古墳や宿場などの歴史文化に関する情報発信や交流事業を実施し、地域資源としての文化財を活用した町の魅力向上に貢献した。 〈主な事業〉 ・小学生を対象とした勾玉づくり教室及び円筒埴輪づくり教室を開催。 ・文化講演会（「街道を歩く」「野田宿本陣森田家について」）を開催。 ・町内の発掘調査で出土した土器などの遺物や養蚕用の民具を常設展示。 ・県、町指定文化財、ぐんま絹遺産などを写真パネルなどで紹介。 ・町内の文化財に関するパンフレットを3種類印刷、配置。（吉岡町文化財マップ、三津屋古墳パンフレット、南下古墳群パンフレット） ・スマホやタブレット、パソコン等で文化財を動画で見ることができるよう、文化財映像作成配信事業を実施。南下古墳群、三津屋古墳、森田家住宅について、上空からの映像や内部の映像を解説を付けて制作し、動画投稿サイトで見られるようにした。	教育委員会 事務局 (生涯学習室)	教育文化
			・町内確認調査等賃金	3,525,722					
			・文化財専門指導員賃金	2,649,422					
			8 報償費						
			・講師謝礼	30,000					
			・文化財等管理・整備謝礼	589,400					
			11 需用費						
			・消耗品費	76,009					
			・文化財標柱	67,100					
			・印刷製本費	327,160					
			・修繕料	28,080					
			12 役務費						
			・文化財施設等責任保険料	2,000					
			13 委託料						
			・文化財映像作成配信業務委託料	1,529,000					
			・南下古墳群・三津屋古墳除草業務委託料	501,891					
			15 工事請負費						
			・南下A号古墳法面保全工事	82,944					
			・文化財センター追加工事	2,410,494					
			16 原材料費						
・文化財維持管理用原材料	23,760								
18 備品購入費									
・施設備品	512,250								
19 負担金、補助及び交付金									
・群馬県史跡整備市町村協議会 分担金	5,000								
・郷土伝承芸能団体補助金	140,000								
・文化財保護活用事業費補助金	205,000								
○ 一般財源		12,705,232		167P					

(款) 10 教育費

(項) 5 保険体育費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
1 保険体育総務費	新規	八幡山グラウンド拡張事業 12,603,969円 (16,000千円)	13 委託料 ・文化財事務所移転補償に伴う 関連業務委託料 1,452,000	167P	八幡山公園の魅力化を図ることを目的として、八幡山グラウンド拡張用として取得した町有地の有効活用を図るべく、既設町道を挟んだ北側用地にあった旧文化財事務所を撤去し、粗造成仕様の仮設駐車場を整備した。	教育委員会事務局 (生涯学習室)	安全 便利	
		15 工事請負費 ・文化財事務所移転補償に伴う 関連業工事等 11,151,969	169P					
	○ 一般財源 12,603,969	—						
	新規	社会体育施設長寿命化計画策定業務 4,246,000円 (5,448千円)	13 委託料 ・社会体育施設長寿命化計画 策定業務委託料 4,246,000	167P	吉岡町公共施設等総合管理計画に基づき、社会体育施設の中長期的な維持管理・更新にかかるトータルコストの縮減や予算の平準化を図るため、個別施設計画を作成した。計画策定において現状の劣化度を認識し、維持管理事業の平準化を考慮した計画策定を行った。	教育委員会事務局 (生涯学習室)	教育 文化	
	○ 一般財源 4,246,000	—						

6. 吉岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和元年度主要事業一覧表（再掲）

基本目標1：「地域力」を活かした、誰もが安心して暮らせるまち

(1) 豊かな住環境の整備と安全・便利なまちづくり

②公共交通・道路網の充実

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳（節の区分ごと）		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳（款の区分ごと）					
公共交通 利便性 向上事業	継続	相乗り推奨 タクシー運賃 等助成事業 509,480 (800千円)	11 需用費		67P	交通不便地区・空白地区の解消に向けた取り組みとして、交通弱者がタクシーを利用した際に支払う運賃等の一部を助成することにより、タクシーを活用した外出機会の創出を図り、もって日常生活の利便性の向上に資することを目的として、実証実験を行っていたが、当該事業が本地域の移動手段に適した公共交通システムと位置づけ、平成30年度から本格実施した。	総務政策課 (政策室)	安全 便利
			・印刷製本費（交通対策事業用）	87,480				
			13 委託料		422,000			
			○ 一般財源	509,480	—			

③安心・安全なまちづくり

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳（節の区分ごと）		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳（款の区分ごと）					
地域自主防災 組織の充実	継続	自主防災組織 支援事業 60,000 (650千円)	19 負担金、補助及び交付金		137P	総合戦略事業として、自主防災組織を支援することで地域防災力の向上を図り、地域と一体となったまちづくりを推進した。 ・自主防災組織の資機材購入費の一部を助成した。(南下、溝祭自治会)	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利
			・自主防災組織活動補助金	60,000				
			○ 一般財源	60,000	—			

③安心・安全なまちづくり

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
防災無線 整備事業	継続	防災無線 デジタル化事業 150,882,000 (151,672千円) 【債務負担行為】 R2：182,223	13 委託料	139 P	現在の防災行政無線施設は平成11年に整備されたが、近年求められている多様化・高度化する通信ニーズへの対応と、無線機器のスペリアス規格の改正に対応するため、防災行政無線施設のデジタル化を実施した。	町民生活課 (生活環境室)	安全 利便
			・防災無線デジタル化設置工事 2,818,800 監理委託料 (繰越明許)				
			15 工事請負費				
			・防災無線デジタル化設置工事 109,879,200 (繰越明許)	27 P			
			・防災無線デジタル化設置工事 38,184,000				
			15 国庫支出金	51 P			
・民生安定施設設置助成補助金 81,011,000 (防災無線デジタル化事業) (繰越明許)							
・民生安定施設設置助成補助金 27,510,000 (防災無線デジタル化事業)	-						
22 町債		-					
・緊急防災・減災事業債 (防災無線デジタル化事業) (繰越明許) 31,600,000							
・緊急防災・減災事業債 (防災無線デジタル化事業) 10,600,000							
○ 一般財源 161,000							

③安心・安全なまちづくり

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
放課後児童 安全対策 事業 (見守り パトロール)	継続	放課後児童 見守りパトロール 2,138,400 (2,309千円)	13 委託料 ・放課後児童見守りパトロー ル委託 2,138,400	69 P	子育て世代が安心して育児に取り組める環境 の整備を目的として、放課後児童見守りパトロー ルを実施した。見守りパトロールの内容は、公益 社団法人吉岡町シルバー人材センターに委託し、 町の青色回転灯装備車両を使用し、児童の下校時 間に合わせて午後2時30分から午後7時30分の パトロールを233日実施した。	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利
			○ 一般財源 2,138,400	—			
放課後児童 安全対策 事業 (防犯カメラ)	継続	防犯カメラ 設置事業 1,622,249 (1,677千円)	11 需用費 ・防犯カメラ電気料 104,863 ・防犯カメラ修繕料 15,336	69 P	住民の安心・安全、児童・生徒の通学路の安全 確保、町有施設の安全管理を目的として、防犯カ メラを4台設置した。	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利
			15 工事請負費 ・防犯カメラ設置工事 1,502,050 ○ 一般財源 1,622,249				

基本目標2：一人ひとりが輝き、生き生きと暮らせるまち

(1) 子育て世帯への支援の充実

①子育てに関する不安や悩みの軽減

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
産前・産後 サポート事業	継続	産前・産後 サポート事業 29,444 (55千円)	13 委託料 ・産前・産後サポート広域委	29,444	95 P	育児・家事等の支援を必要とする、産前・産後期の母親の精神的・肉体的負担を軽減し、安心して育児や日常生活が営めるよう支援する。 1回につき1,700円(2時間)で、3回までを町が負担し、4回目以降は自己負担となる。ただし、多胎妊娠の場合は6回までを町が負担する。 渋川広域圏で共同実施しており、吉岡町住民の利用分について、渋川市に委託料を支出した。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉
			○ 一般財源	29,444	—			
発達障がい の早期発見 のための 各種健診 の充実	継続	こどものこころの 発達健診 156,000 (240千円)	8 報償費 ・こどものこころの発達健診 謝礼	156,000	105 P	自閉症やADHD(注意欠陥多動性障害)・ASP(アスペルガー症候群)等の広汎性発達障害を早期に発見し、子どもの生活のしづらさと保護者の負担や不安の軽減を図る総合戦略事業の一環として行うもの。1歳6ヵ月児健診で発達の遅れが疑われる児童に対し、心理士による詳しい検査・保護者へのアドバイスを行った。 ・対象者18人 ・来所者14人	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉
			○ 一般財源	156,000	—			
発達障がい の早期発見 のための 各種健診 の充実	継続	年中児こころの 成長アンケート 235,515 (465千円)	8 報償費 ・年中児こころの成長アンケート 謝礼	72,000	105 P	自閉症やADHD(注意欠陥多動性障害)・ASP(アスペルガー症候群)等の広汎性発達障害を早期に発見し、子どもの生活のしづらさと保護者の負担や不安の軽減を図る総合戦略事業の一環として行うもの。 年中児の年齢(4歳~5歳)に達した児童の保護者にアンケートを行うことでハイリスク児を把握し、発達支援教室や相談会でフォローしていくとともに、二次障害(不登校、ひきこもり、精神疾患)の予防につなげていく。 また、保育園での生活の中で、困難を抱えている児童の発見・支援を目的に、心理士による巡回相談を行った。 ・アンケート送付者263人、回答者183人 ・園訪問2園、対象児3人	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉
			11 需用費 ・印刷製本費(年中児こころの成長アンケート)	24,000				
			12 役務費 ・郵便料(年中児こころの成長アンケート)	119,715				
			○ 一般財源	235,515	—			

①子育てに関する不安や悩みの軽減

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
発達障がい の早期発見 のための 各種健診 の充実	継続	発達支援教室 837,918 (1,047千円)	8 報償費	688,400	105 P	自閉症やADHD(注意欠陥多動性障害)・ASP(アスペルガー症候群)等の広汎性発達障害を早期に発見し、子どもの生活のしづらさと保護者の負担や不安の軽減を図る総合戦略事業の一環として行うもの。 年中児こころの成長アンケートにより発達障害の疑いがあり、発達支援教室への参加が必要となった児童及びその保護者に対し、発達を促す遊びを行うほか、医師・心理士・作業療法士・保育士・保健師がアドバイスをを行った。 ・教室該当者29人、参加者8人	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉
			・発達支援教室謝礼					
			11 需用費	41,518				
			・消耗品費(発達支援教室)					
13 委託料	108,000	-						
・発達支援教室委託料								
○ 一般財源	837,918							
育児相談の 充実事業	継続	子育て相談 支援事業 990,000 (1,432千円)	8 報償費	942,000	105 P	子育て世代が安心して子どもを産み育てるための支援策として、乳幼児健診の事後相談を充実するとともに、母乳相談や子育て相談会のスタッフの充実(栄養士・言語聴覚士・作業療法士を追加)により、育児不安の解消、育児ストレスの軽減を図った。 また、第二子以降の保健師による訪問・電話相談を実施し、早期の支援を行った。 ・運動発達の相談 来所者 37件 ・ことばの相談 来所者 15件 ・心理相談 来所者 26件 ・母乳相談 来所者 261件 ・心理士の電話相談 104件 ・保健師の第2子訪問件数 61件 ・保健師の電話件数 50件	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉
			・健康相談謝礼					
			13 委託料	48,000	27 P			
			・産後ケア事業委託料					
			15 国庫支出金	234,000	-			
・母子保健衛生費国庫補助金								
○ 一般財源	756,000							
赤ちゃんの駅 (情報マップ) の活用支援	継続	赤ちゃんの駅 (情報マップ) 93,500 (123千円)	11 需用費	93,500	95 P	渋川広域圏で実施する地方創生事業であり、外出中におむつ替えや授乳などで誰でも自由に立ち寄ることができる公共施設や民間施設を「赤ちゃんの駅」として指定する。 令和元年度は、新たに指定された施設はなし。 情報マップの増刷のみ実施となった。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉
			・印刷製本費					
			○ 一般財源	93,500	-			

②子育ての経済的負担の軽減

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
不妊・不育 対策支援	継続	不妊・不育対策 支援事業 4,473,000 (6,180千円)	20 扶助費		105 P	総合戦略事業として、また、一億総活躍政策が掲げる「希望出生率1.8」の実現に向けた取組みとして、不妊・不育に悩む夫婦の支援を行うもの。 平成28年度より、従来の特定不妊治療に加え、一般不妊治療、男性不妊治療、不育症治療についても助成を行った。 ・特定不妊治療助成件数 (延件数36件) ・一般不妊治療助成件数 (延件数43件) ・男性不妊治療助成件数 (延件数0件) ・不育症治療助成件数 (延件数3件)	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉
			・特定不妊治療費	2,821,000	—			
			・一般不妊治療費	1,584,000	—			
			・男性不妊治療費	0	—			
		・不育症治療費	68,000	107 P				
		○ 一般財源	4,473,000	—				
学校給食費の 保護者負担額 の軽減事業	継続	学校給食事業 特別会計繰出金 19,543,400 (21,508千円)	28 繰出金		151 P	一般会計から学校給食事業特別会計への繰出しを行い、児童1人当たり9,500円(950円×10カ月)を補助した。 ・対前年度：-1,194千円(-8.2%)【小学校】 ・対前年度：-726千円(-10.5%)【中学校】	教育委員会 事務局 (学校教育室)	教育文化
			・駒小学校給食事業特別会計繰出金	7,364,400				
			・明小学校給食事業特別会計繰出金	6,020,150				
			・学校給食事業特別会計繰出金	6,158,850	157 P			
		○ 一般財源	19,543,400	—				
高校生の 通学支援	継続	高校生等 通学支援事業 1,104,000 (1,500千円)	19 負担金、補助及び交付金		67 P	公共交通の利用促進と高校生等を持つ世帯の経済的負担を軽減するために、通学定期に対する補助事業を実施した。5,000円/月以上で1,000円、10,000円/月以上で2,000円の補助を行い、多くの利用をいただいた。	総務政策課 (政策室)	安全便利
			・高校生等通学支援事業補助金	1,104,000	—			
		○ 一般財源	1,104,000	—				

(2) 「子どもを育てる」、「子どもが育つ」環境づくり

①就学前の児童と保護者の交流・成長支援

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳 (款の区分ごと)						
保育士 確保事業	継続	保育士等確保 事業 3,850,000 (4,500千円)	19 負担金、補助及び交付金		97P	保育所等で、保育士を年度当初の在園児数に対する保育士数の配置基準以上に余剰配置することによって、途中入所の増加にも対応できる体制を整えた場合に当該経費の一部を補助するもの。 町内4保育所等の事業実施に対して支払いを行い、年度途中の園児の受入態勢の充実に努めた。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉	
			・保育士等確保事業補助金	3,850,000					
			○ 一般財源	3,850,000	—				
保育環境の 改善事業	継続	私立保育所等 施設整備助成 事業 261,056,800円 (270,085千円)	13 委託料		97P	増加している低年齢児の保育ニーズに対応するほか、児童の保育環境等の改善を図るため、町内の保育所等の施設整備にかかる費用の一部を助成するもの。 平成30年度に事業を開始した第三保育園の施設整備事業について、新園舎が令和元年度に完成したことによる補助金と、旧園舎の解体工事及び備品購入の助成などを行った。 第三保育園では園舎の新築に伴い、30名の定員増を実施した。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉	
			・第三保育園解体工事設計委託料	2,818,800					
			15 工事請負費						
			・第三保育園解体工事	35,530,000					
			19 負担金、補助及び交付金						
			・私立保育所等施設整備補助金 (繰越明許)	222,708,000					
15 国庫支出金		27P							
・保育所等整備交付金(私立保育所等施設整備助成事業) (繰越明許)	196,185,000								
21 諸収入		49P							
・保育園負担金(第三保育園解体事業)	8,882,500								
22 町債									
・公共施設等適正管理推進事業債 (第三保育園解体事業)	26,500,000								
○ 一般財源			29,489,300	—					

③子どもの可能性を広げるための学習支援

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
吉岡町 大樹町 子ども 交流事業	継続	吉岡町・大樹町 子ども交流事業 3,526,410 (3,530千円)	9 旅費			友好都市である北海道大樹町において自然体験・社会体験・宿泊体験を行うことにより、大樹町の子どもたちとの交流のほか、地域社会でリーダーシップを発揮できる青少年を育成することができた。 参加者 30名。	教育委員会 事務局 (生涯学習室)	教育 文化
			・普通旅費 (吉岡町・大樹町子ども交流事業)	642,600	157 P			
			11 需用費					
			・消耗品費 (吉岡町・大樹町子ども交流事業)	22,585				
			・食糧費 (吉岡町・大樹町子ども交流事業)	60,150				
			・印刷製本費 (吉岡町・大樹町子ども交流事業)	128,920				
			12 役務費					
・保険料 (吉岡町・大樹町子ども交流事業)	28,800	159 P						
13 委託料								
・業務委託料 (吉岡町・大樹町子ども交流事業)	2,630,480							
14 使用料及び賃借料								
・携帯電話使用料 (吉岡町・大樹町子ども交流事業)	12,875							
21 諸収入								
・吉岡町・大樹町子ども交流事業負担金	900,000	45 P						
○ 一般財源			2,626,410	—				

(3) 健康で生き生きと暮らせるまちづくり

①健康で生き生きと暮らせるまちづくり

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
地域福祉交流拠点施設	継続	地域福祉交流 拠点施設事業 281,032円 (342千円)	11 需用費	87P	地域の誰もが気軽に利用可能な地域福祉交流拠点施設として、認知症カフェを始めとした様々な事業を展開することにより地域コミュニティの再生を図り、地域から疎遠となり本町を転出してしまう高齢者等の定住を促進する。 吉岡町社会福祉協議会のサポートのもと、ボランティアが主体となった運営を行い、関係機関と連携し、地域の福祉拠点としての機能を充実させるとともに、ボランティアの育成を図る。	健康福祉課 (高齢福祉室)	健康福祉
			・消耗品費 (地域福祉交流拠点施設)				
			・電気料 (地域福祉交流拠点施設)	103,234			
			・上下水道料 (地域福祉交流拠点施設)	105,624			
			・修繕料 (地域福祉交流拠点施設)	56,749			
			○ 一般財源	281,032	—		

基本目標3：地域資源を活かした産業や交流を応援するまち

(1) 地域を誇りに思い、魅力を発信するまちづくり

① 地域資源の発掘・活用

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳 (款の区分ごと)						
まちの 歴史資源の 発掘・活用	継続	文化財を資源 とした交流 エリア形成 プロジェクト 12,705,232円 (15,458千円)	7	賃金		165P	平成30年度にオープンした文化財センターを拠点として、本町の特色である古墳や宿場などの歴史文化に関する情報発信や交流事業を実施し、地域資源としての文化財を活用した町の魅力度向上に貢献した。 (主な事業) ・小学生を対象とした勾玉づくり教室及び円筒埴輪づくり教室を開催。 ・文化講演会(「街道を歩く」「野田宿本陣森田家について」)を開催。 ・町内の発掘調査で出土した土器などの遺物や養蚕用の民具を常設展示。 ・県、町指定文化財、ぐんま絹遺産などを写真パネルなどで紹介。 ・町内の文化財に関するパンフレットを3種類印刷、配置。(吉岡町文化財マップ、三津屋古墳パンフレット、南下古墳群パンフレット) ・スマホやタブレット、パソコン等で文化財を動画で見ることができるよう、文化財映像作成配信事業を実施。南下古墳群、三津屋古墳、森田家住宅について、上空からの映像や内部の映像を解説を付けて制作し、動画投稿サイトで見られるようにした。	教育委員会 事務局 (生涯学習室)	教育 文化
				・町内確認調査等賃金	3,525,722				
				・文化財専門指導員賃金	2,649,422				
			8	報償費					
				・講師謝礼	30,000				
				・文化財等管理・整備謝礼	589,400				
			11	需用費					
				・消耗品費	76,009				
				・文化財標柱	67,100				
				・印刷製本費	327,160				
				・修繕料	28,080				
			12	役務費					
				・文化財施設等責任保険料	2,000				
			13	委託料					
				・文化財映像作成配信業務委託料	1,529,000				
				・南下古墳群・三津屋古墳除草 業務委託料	501,891				
			15	工事請負費					
				・南下A号古墳法面保全工事	82,944				
				・文化財センター追加工事	2,410,494				
16	原材料費								
	・文化財維持管理用原材料	23,760							
18	備品購入費								
	・施設備品	512,250							
19	負担金、補助及び交付金								
	・群馬県史跡整備市町村協議会 分担金	5,000							
	・郷土伝承芸能団体補助金	140,000							
	・文化財保護活用事業費補助金	205,000							
○	一般財源	12,705,232		167P	—				

②「吉岡の魅力」の情報発信

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
道の駅 「よしおか温泉」 情報発信 強化事業	継続	道の駅 「よしおか温泉」 情報発信 機能強化事業 200,000 (600千円)	19 負担金、補助及び交付金 ・道の駅まつり交付金 200,000	115 P	町の東の玄関口として位置付けられている道の駅「よしおか温泉」を、広域観光案内及び地域情報の提供施設として更なる整備を推進するとともに、各種イベントを通して地域交流及び地域特産品のPR強化を図る事業。今年度は、道の駅で行われた「ほたる祭り」のイベントに対し助成を行い、各種団体による自主的・自立的な交流及び地域PR活動が行われた。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用
			○ 一般財源 200,000	—			
まちの イメージアップと 観光・行政情報 発信の充実強化	継続	イメージアップ 事業 96,538 (100千円)	8 報償費 ・謝礼(企画費) 35,200 ・イメージアップ事業記念品 (企画費) 60,838	65 P	町のフォトコンテストの開催は今回で4回目。ラジオ、広報、ホームページ等で周知活動をし、応募数は18点であった。町の魅力を再発見するとともに、広報やホームページにて町の魅力を広く内外に発信した。	総務政策課 (政策室)	町民 行政
			11 需用費 ・食糧費(企画費) 500	67 P			
			○ 一般財源 96,538	—			

(4) 町の魅力や企業の価値を高める活動に対する支援

①町の魅力や企業の価値を高める活動に対する支援

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
6次産業化に 対する支援	継続	地域特産品 生産体制構築 事業 6,842,000円 (11,000千円)	13 委託料 ・地域特産品生産体制構築事業 6,842,000 委託料	113P	<p>本年度も協議会を中心に県の協力を得ながら、原料いもの収量や生産量の拡大に向けた調査及び検証を行った。</p> <p>栽培においては、農林5号はマルチなしの場合が一番収量が多く、加工に適している200グラム以上の割合も良い結果が得られた。この2年間の調査で収量に関してはマルチは必ずしも必要ではない結論に至った。</p> <p>また、昨年度導入した貯蔵庫を使用して、温度と湿度を一定にすることで簡易的なキュアリング処理ができるか検証を行った結果、薄いコルク層の形成が見られたため、成功したものと思われる。加工に関して、貯蔵庫で保管しているいものは、糖化が進んでいないことがわかり、加工前に一定期間低温にさらした方が良いことが判明した。販路拡大に向けた取組の一つとしてブランド化が考えられるが、今年度知的財産権の活用に向けて、地域団体商標制度について調査を行った。また、今後の販路拡大として小倉乾燥芋のホームページおよびECサイト(独自の通販サイト)を構築した。</p>	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用
			15 国庫支出金 ・地方創生推進交付金 3,421,000	25P			
			○ 一般財源 3,421,000	—			

①町の魅力や企業の価値を高める活動に対する支援

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
ぐんま新 技術 新製品開発 推進事業	継続	ぐんま新技術・ 新製品開発 推進事業 0円 (400千円)	19 負担金、補助及び交付金 ・ぐんま新技術・新製品開発 推進補助金 0	—	町内の中小企業者の開発意欲を助長し、その競争力強化と発展を図ることを目的とし、町内に事業所をもつ中小企業者が行う新製品・新商品の開発に係る研究開発費の一部を、県と町が連携して助成する事業。 募集を行ったが、応募が無かった。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用
			○ 一般財源 0	—			